

大阪駅前ダイヤモンド地区における水害時の 避難確保・浸水防止計画

平成18年3月 制定

(平成26年1月 改訂)

(平成31年2月 改訂)

(令和6年10月 改訂)

担当事務局：大阪市街地開発株式会社

目次

| | |
|-------------------------|------------|
| はじめに | 4 |
| 第1部 総則 | 5 |
| 1 計画の方針 | 5 |
| (1) 計画の目的 | 5 |
| (2) 計画の修正 | 5 |
| 2 計画の対象範囲 | 5 |
| (1) 大阪駅前ダイヤモンド地区地下空間の範囲 | 5 |
| (2) 接続ビル等との状況 | 5 |
| 3 災害の想定 | 5 |
| 第2部 応急対策計画 | 6 |
| 1 警戒活動と体制 | 6 |
| (1) 内水氾濫 | 6 |
| 内水浸水想定区域図 | 6 |
| 対策の基本フレーム | 7 |
| 活動内容 | 8.9 |
| (2) 淀川氾濫 | 10 |
| 淀川氾濫想定区域図 | 10 |
| 対策の基本フレーム | 11 |
| 活動内容 | 12. 13. 14 |
| (3) 津波警報・大津波警報 | 15 |
| 津波浸水想定区域図 | 15 |
| 対策の基本フレーム | 16 |
| 活動内容 | 17. 18. 19 |
| (4) 高潮 | 20 |
| 高潮浸水想定区域図 | 20 |
| 対策の基本フレーム | 21 |
| 活動内容 | 22. 23. 24 |
| (5) 災害対策本部の設置 | 25 |
| (6) 災害対策本部の設置場所 | 25 |
| (7) 災害対策本部の体制 | 26 |
| (8) 災害対策本部の組織と任務 | 27 |
| (9) 災害対策本部の解散 | 27 |
| 2 情報収集及び伝達体制 | 28 |
| (1) 浸水危険性・施設利用状況の把握 | 28 |
| (2) 情報伝達体制 | 28. 29 |
| 3 浸水防止に関する活動 | 30 |
| (1) 基本認識 | 30 |
| (2) 止水対策の実施方法 | 30 |
| 4 避難誘導 | 30 |
| (1) 避難の原則 | 30 |
| (2) 避難誘導開始時期 | 30. 31 |
| (3) 発令時の行動 | 31 |

| | |
|---------------------------------|------------------------|
| (4)避難場所及び避難経路 | 32 |
| (5)避難誘導方法及び留意事項 | 32 |
| 第3部 避難の確保及び浸水の防止を図るための施設の整備 | 32 |
| 第4部 防災教育・訓練の計画及び実施 | 32 |
| 1 防災教育・訓練の計画 | 32 |
| 2 防災訓練の実施方法 | 33 |
| (1)訓練の内容 | 33 |
| (2)図上訓練のシナリオ | 33. 34 |
| (3)実地訓練のシナリオ | 34 |
| (4)各接続ビルの取組み | 34 |
| 3 施設点検計画 | 34 |
| 第5部 事務局への報告等 | 34 |
| 1 自衛水防組織 | 34 |
| 2 避難確保資器材と対策図面 | 34 |
| 3 大阪駅前ダイヤモンド地区現有水防力 | 34 |
| 4 防災教育と水防訓練 | 34 |
| 第6部 雑 則 | 35 |
| 様式1 自衛水防隊員名簿（自衛水防組織の編成と任務） | 36 |
| 様式2 避難確保資器材等一覧 | 37 |
| 別図1 大阪駅前ダイヤモンド地区地下空間接続ビル一覧図 | 38 |
| 別図2 雨量計・カメラ設置場所 | 39 |
| 別図3 大阪駅前ダイヤモンド地下街止水板設置場所 | 40 |
| 別図4 避難場所及び避難経路（駅前ビルに避難する場合） | 41 |
| 参考資料1 避難確保資器材等一覧（大阪駅前ダイヤモンド地下街） | 42 |
| 参考資料2 避難誘導放送例文 | 43. 44. 45. 46. 47. 48 |

はじめに

◎ 地下街の役割について

- (1) 交通事故の危険がなく安全で、信号機や天候の影響を受けず、空調空間下での快適な通行
- (2) 地下街利用者への賑わいのある場所と環境の提供
- (3) 地上道路交通の混雑緩和と都市景観向上に貢献
- (4) 地下街沿道の都市開発促進，接続した建物の価値向上

◎ 一方で地下空間浸水時のリスク特性については以下のとおりである。

- (1) 地上の状況が判りにくい・・・地上の天候、冠水等を把握しにくく、避難が遅れる傾向がある。
- (2) 避難経路が限定される・・・地上出入口が限定され浸水流入経路と避難経路が同一であるが、一方で、水の侵入方向と避難方向は正反対となる
- (3) 短時間で人命に関わる深刻な被害につながる可能性が高い・・・限られた地下空間による浸水位の急上昇、地下深部にある電源の喪失による停電による視界不良、水圧による扉開閉困難、通路の勾配による流水速度上昇、濁流による避難通路状況視認不良となる他、コンセント等電気配線水没・漏電による感電等、数多くの理由により浸水開始後短時間で避難が困難となる。
従って、地下空間に浸水が始まるまでに全員の避難を完了させることが必須となる。

大阪駅前ダイヤモンド地区における水害時の避難確保・浸水防止計画

大阪駅周辺は、海拔が0 mから1 m程度であり、また淀川が大阪駅の北側約1 kmに、堂島川・土佐堀川が同駅南側0.5km付近を流れるなど大きな河川に挟まれた水害リスクのある立地である。

大雨降雨時には集中豪雨による内水氾濫、淀川の氾濫の発生、及び南海トラフ地震発生時には津波、更に台風接近時には高潮の大阪湾沿岸から淀川、堂島川、土佐堀川からの襲来が予想される。

地下街浸水は各災害によってそれぞれ特性が異なるために、これらの対策を区分して計画することが、より実効性を図ることができるため、淀川の氾濫及び津波に対しては、地下街等利用者の迅速かつ円滑な避難を中心に、人命確保のための避難誘導を最優先させる計画とし、また、内水氾濫、高潮に対しては、避難誘導の体制を図りつつ、同時に並行して浸水対策にも努める計画として作成した。

第1部 総則

1 計画の方針

(1) 計画の目的

この計画は、水防法第15条の2第1項に基づき大阪駅前ダイヤモンド地下街等地下施設利用者の水害時等の円滑かつ迅速な避難の確保と浸水の防止を図ることを目的とする。

(2) 計画の修正

この計画の修正は、軽微な事項については各ビルの担当者協議のうえ決定するものとし、経費を必要とするなど重要な事項については、権限を有する者の協議のうえ決定する。

2 計画の対象範囲

(1) 大阪駅前ダイヤモンド地区地下空間の範囲

本計画の対象範囲は、大阪駅前ダイヤモンド地下街及び当該大阪駅前ダイヤモンド地下街に接続するビル・施設により構成される区域（以下「大阪駅前ダイヤモンド地区」という。）とし、利用する全ての者に適用するものとする。（別図-1のとおり）

(2) 接続ビル等との状況（大阪駅前ダイヤモンド地下街地下1階に直接面する出入口の数 2024.4.1現在）

| 施設名 | 出入口数 | 敷地面積 | 建築面積 | 地階 | 地上階 |
|-----------------|------|-----------------------|------------------------------|----|-----|
| 大阪駅前ダイヤモンド地下街 | 27 | 21,900 m ² | 40,900 m ² | 2 | --- |
| 大阪第一生命ビル | 2 | 2,405 m ² | 1,424 m ² | 5 | 19 |
| 梅田スクエアビル | 1 | 1,642 m ² | 934 m ² | 3 | 17 |
| 梅田DTタワー | 4 | 3,609 m ² | 1,617 m ² | 4 | 27 |
| イーマビル | 1 | 2,444 m ² | 1,948 m ² | 3 | 14 |
| 大阪マルビル（解体中） | 2 | 3,244 m ² | 2,546 m ² | 4 | 30 |
| 大阪駅前第1ビル | 2 | 9,214 m ² | 9,124 m ² | 6 | 12 |
| 大阪駅前第2ビル | 5 | 8,892 m ² | 8,792 m ² | 4 | 16 |
| 大阪駅前第3ビル | 2 | 10,341 m ² | 8,120 m ² | 4 | 34 |
| 大阪駅前第4ビル | 2 | 8,439 m ² | 6,634 m ² | 4 | 25 |
| 桜橋駐車場・曾根崎地下歩道 | 2 | 11,321 m ² | 15,965 m ² | 2 | --- |
| JR北新地駅 | 1 | 5,790 m ² | <u>11,060 m²</u> | 4 | --- |
| 大阪梅田ツインタワーズ・サウス | 2 | 12,200 m ² | <u>260,000 m²</u> | 3 | 38 |
| 大阪駅前地下道 | 1 | — m ² | <u>12,428 m²</u> | 1 | --- |

* ___ は、延面積

3 災害の想定

本計画で対象とする災害は、大雨による淀川の氾濫並びに南海トラフを震源とする地震発生による津波災害及び梅田地区を中心とするゲリラ豪雨等による内水氾濫、そして台風がもたらす高潮による淀川、堂島川、土佐堀川からの浸水とする。

浸水想定については、淀川氾濫、津波被害、高潮は令和2年8月31日新たに公表、また内水氾濫については令和3年3月に見直しされ、水害ハザードマップ「北区」で示されたものとする。

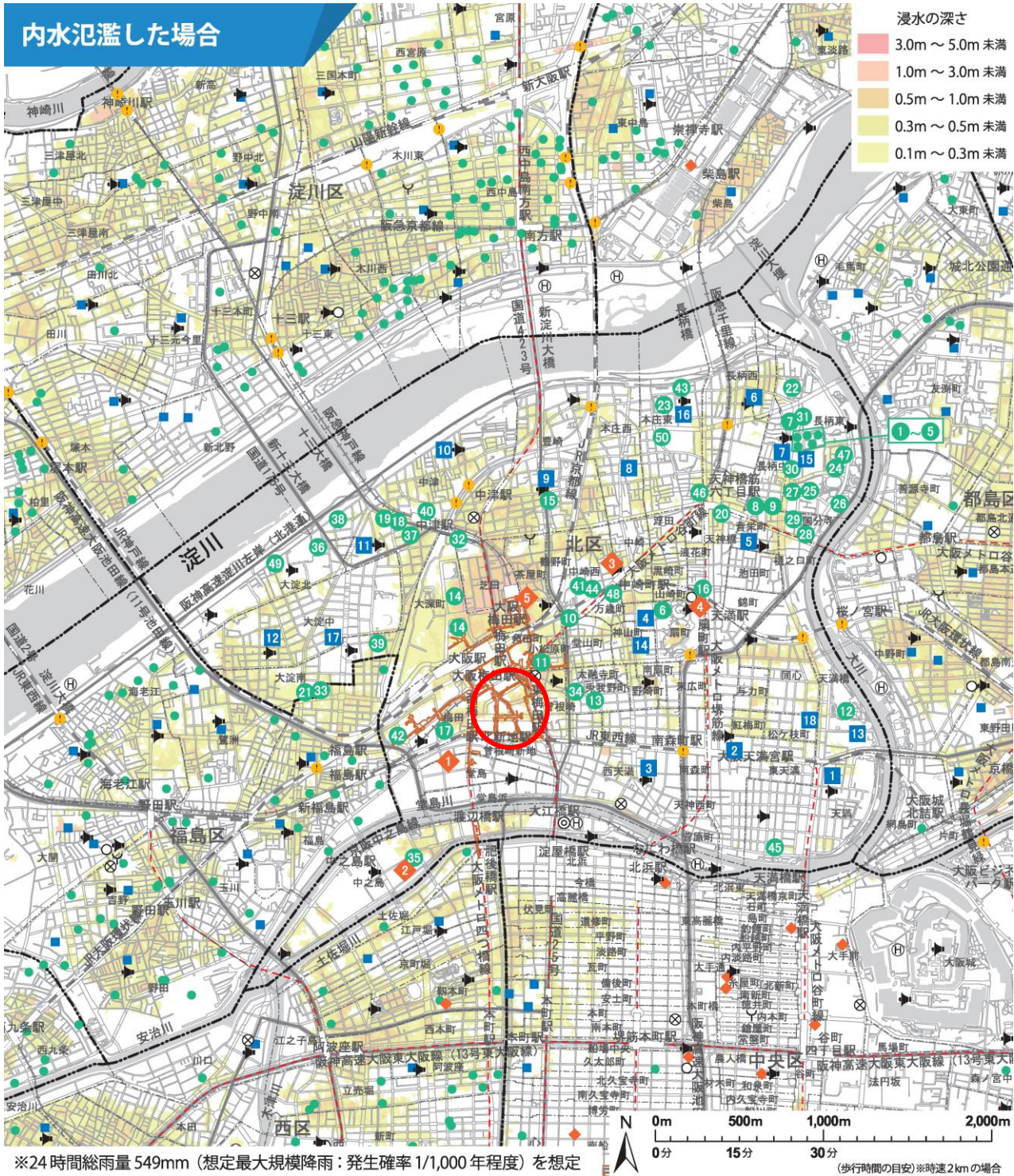
第2部 応急対策計画

1 警戒活動と体制

(1) 内水氾濫


(内水浸水想定区域図)

大阪市危機管理室HP 水害ハザードマップ (北区) 令和3年3月見直し図より転載



<参考>内水氾濫とは、多量の雨が降った時に下水道の排水する能力が追いつかない時や低地に溜まる雨水による洪水を言う。2000年9月の東海豪雨(総雨量567mm/2日、時間最大雨量93mm)規模の集中豪雨が発生した場合、大阪駅前ダイヤモンド地区周辺は部分的に0.3mから1.0mの浸水と想定されている。

内水氾濫の浸水対策（止水・避難）
対策の基本フレーム

| | 警戒活動 0分 | 約30分後 | 避難誘導～避難完了 約40分後 | 約60分後 | 避難継続 約70分後 |
|-------------------|--|--|--|---|--|
| 状況 | 大雨の降り始め | 道路冠水の発生 | 止水板等を設置していない出入口から水が流入するおそれ | 止水板等を設置した出入口から水が流入するおそれ |  |
| 気象台 | 大雨警報・洪水警報・大雨特別警報 | | | | |
| 地下街管理者 接続ビル管理者 | <ul style="list-style-type: none"> 警戒体制の設置 気象情報の収集 周囲の状況を監視 必要に応じ止水板や土嚢の準備 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者に周囲の状況を周知 特に警戒を要する出入口等に必要に応じ止水板や土嚢の設置 その他の出入口の監視 各管理者と情報共有 道路冠水付近の出入口の閉鎖 道路冠水の状況を常に監視し、避難できる出入口を把握 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者に周囲の状況を周知 水が流入するおそれがある出入口に止水板や土嚢の設置 その他の出入口の監視 接続ビル、地下街管理者は地下階及び地下街店舗等の閉店準備 各管理者と情報共有 道路冠水の状況を常に監視し、避難できる出入口を把握 避難可能な出入口の決定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> （止水板等の設置が間に合わない場合） ・右欄の避難対策に移行 </div> | <ul style="list-style-type: none"> 利用者に周囲の状況を周知 利用者へ地下からの避難を呼びかけ 利用者に対して垂直避難を誘導 管理者は利用者の避難完了を確認後、垂直避難 全ての利用者及び管理者の避難完了 全ての出入口で止水板や土嚢の設置完了 接続ビル管理者は地下街接続口に止水板等を設置 地下街管理者は水が流入するおそれがある出入口付近のエリアを封鎖 接続ビル、地下街管理者は地下階及び地下街店舗等の閉店完了 各管理者と情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 |

※表中の時間経過については想定であり、実際の雨の降り方によっては想定よりも早い時間で対応が必要となる可能性がある。

※避難先となる接続ビルは、津波避難ビルの指定要件（新耐震基準を満たした鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨鉄筋コンクリート造）と同等の構造を有する建築物であることが望ましい。

（大阪駅周辺地区 地下空間浸水対策計画 Ver. 2 一部修正し引用）

◎大雨・洪水警報 大雨特別警報発表時等で内水氾濫の場合

利用者、関係者の垂直避難を優先し、災害状況等により止水板等の設置も考慮する。

| | 状況 | 气象台 | 活動内容 | 対応組織 |
|-------|----------------------------|--|--|-------------|
| フェーズ1 | 大雨の降り始め | 台風の接近 | <ul style="list-style-type: none"> 警戒体制の強化 気象情報の収集 周囲の状況を監視 必要に応じ止水板や土嚢の準備 | 施設管理室 |
| | | 大雨警報 | <ul style="list-style-type: none"> 営業時間の短縮、臨時休業等の検討 | 大阪ダイヤモンド地下街 |
| フェーズ2 | 道路冠水の発生 | 洪水警報 | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により利用者に周囲の状況を周知 特に警戒を要する出入口等に必要な応じ止水板や土嚢の設置 | 施設管理室 |
| | | 大雨特別警報 | <ul style="list-style-type: none"> その他の出入口等の監視 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 道路冠水付近の出入口の閉鎖 道路冠水の状況を常に監視し、避難できる出入口を把握 | |
| フェーズ3 | 止水板等を設置していない出入口から水が流入するおそれ | 【 災害対策本部の設置 】 | | 統括班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により利用者に周囲の状況を周知し避難を呼びかけ | | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 止水板等を設置していない出入口から水が流入するおそれがある出入口に止水板や土嚢の設置 その他の出入口の監視 | | 警戒活動班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下街店舗の閉店準備 | | 大阪ダイヤモンド地下街 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 | | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 道路冠水の状況を常に監視し、避難できる出入口を把握 | | 警戒活動班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 避難可能な出入口の決定 | | 統括班 |
| フェーズ4 | 止水板等を設置した出入口から水が流入するおそれ | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により利用者に周囲の状況を周知し避難を呼びかけ | | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 利用者へ地下からの避難を呼びかけ 利用者に対して垂直避難を誘導 利用者の避難完了を確認後、垂直避難 全ての利用者及び管理者の垂直避難完了を確認 | | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 全ての出入口で止水板や土嚢の設置完了 地下街管理者は水が流入するおそれがある出入口付近を封鎖 | | 警戒活動班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下街店舗等の閉店完了 | | 大阪ダイヤモンド地下街 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 | | 情報収集伝達班 |
| フェーズ5 | 地下空間に雨水流入(浸水) | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 | | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 避難先での災害情報提供 | | 情報収集伝達班 |

*大阪市街地開発(株)、大阪ダイヤモンド地下街(株)、管理センターの各班は連携して対応にあたる。

警戒活動

警戒配備体制（内水氾濫）

警戒活動内容（詳細）

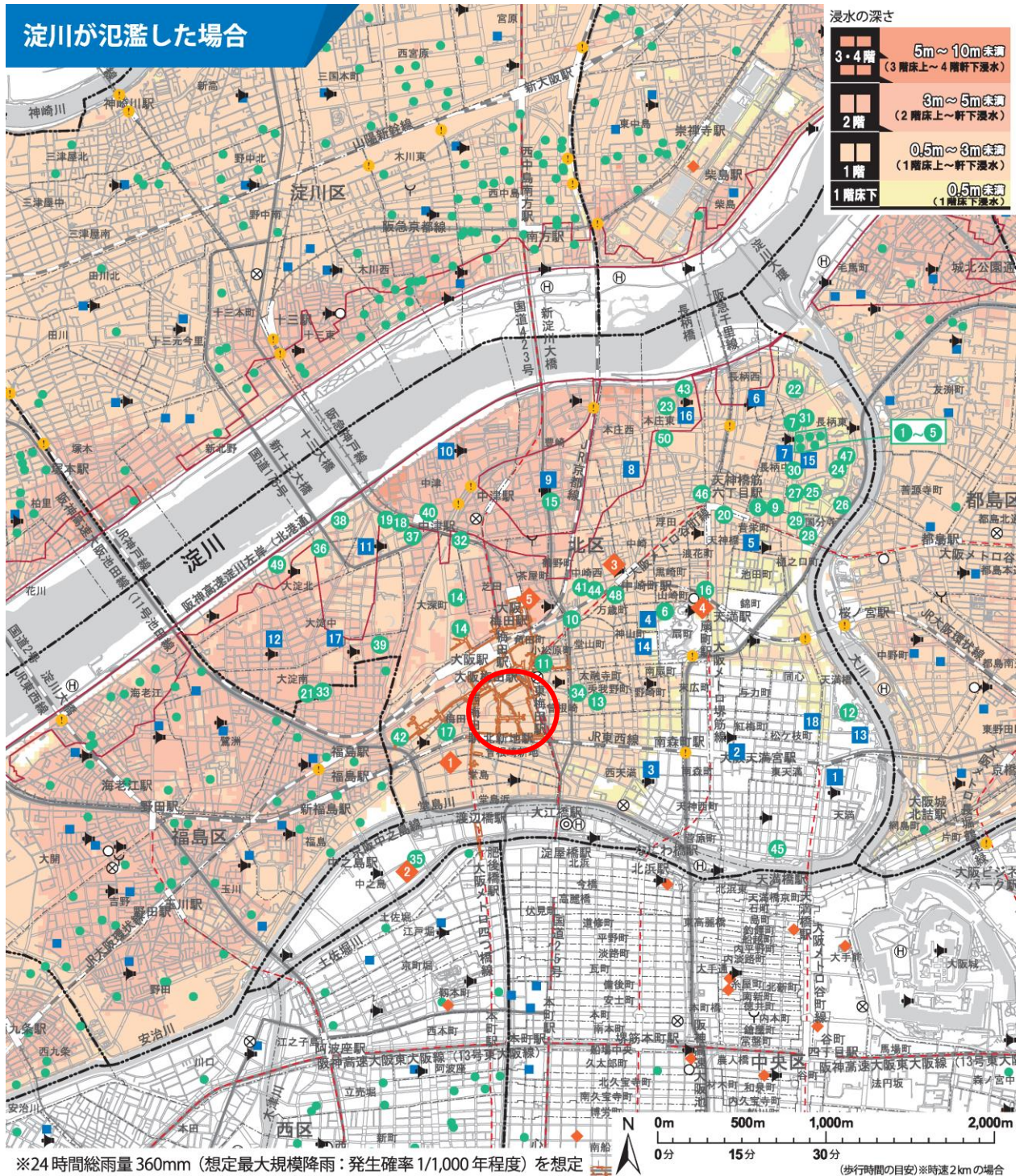
| 状況 | 本部（管理センター）の対応 | 各接続ビルの対応 |
|-------------|--|--|
| フェーズ1・フェーズ2 | <ul style="list-style-type: none"> 施設管理室・管理センターが中心となり資器材の点検及び準備を行うとともに、各接続ビルにホットラインで連絡を行う。 管理センターは、各接続ビルからの情報収集活動を適宜実施すること。 管理センターは、監視カメラのモニター画面で地上部を監視できるものは、地上に固定し、また「梅田地区地下空間防災対策検討会」の防災システムを活用し降雨状況等を随時情報収集する。 管理センターは、非常放送により利用者に周囲の状況を周知 特に警戒を要する出入り口等に必要に応じ止水板や土嚢を設置 <p><夜間、休日等></p> <p>夜間、休日等については、大阪市街地開発(株)動員計画に基づき管理センターと連携して対応することとし、サイボウズを積極的に活用し、対応の迅速化を図るとともに災害情報等の共有、指示等の一元化を図ることとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 防災計画等に基づく活動を実施する。 周辺を監視カメラ等で警戒監視する。 必要資器材を点検準備する。 ホットラインで情報を共有する。 避難者の受入れ等について情報を共有する。 |
| フェーズ3・フェーズ4 | <ul style="list-style-type: none"> 管理センターは、非常放送により利用者等に避難の事前予告、避難場所への避難情報を提供する。 警戒活動班は、出入口などに土嚢や止水板を設置するとともに、水防資器材を活用し水防作業にあたる。 各浸水箇所の水防作業に当たる警戒活動班長は、浸水状況、水防作業状況、作業人員等について災害対策本部に報告する。 警戒活動班は、主要な出入口の道路側溝の流水状況等を監視し、その状況を随時、災害対策本部に報告する。 避難誘導班は、利用者等に垂直避難を誘導する。 各店舗従業員は、閉店し自店舗のシャッター閉鎖等必要な措置等の確認を行い、利用者の垂直避難の誘導を行う。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等の対応については、フェーズ1・フェーズ2と同じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地下階及び地下店舗等の閉店を準備する。 避難者の受入れ等について情報を共有する。 接続ビル管理者は地下街接続口に止水板等を設置する。 地下階及び地下店舗等の閉店完了を確認する。 |
| フェーズ5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報収集伝達班は、大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報を共有する。 情報収集伝達班は、避難先で災害情報を提供する。 避難誘導班は、避難が完了していない場合は全ての利用者及び管理者の地下からの至急退出を呼びかける。 避難誘導班は、地下街、接続ビル地下階に未避難者の有無最終確認及び他地下街、地下駅からの未避難者への避難誘導にあたる。（単独行動はせず必ず2名以上） 店舗従業員は自ら避難するとともに未避難者の接続ビル等への避難誘導にあたる。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等の対応については、フェーズ1・フェーズ2と同じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続する。 避難先で災害情報を提供する。 |

※夜間：平日勤務時間外の17：30～翌9：00の時間帯を指す。以下同様とする。

(2) 淀川氾濫

(淀川浸水想定区域図)

大阪市危機管理室HP 水害ハザードマップ (北区) より転載



<参考>国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所の資料 (令和2年3月25日発表) によると枚方上流域で総雨量360mm/24時間が降り続き、淀川左岸堤防から氾濫した場合、大阪駅前ダイヤモンド地区周辺では平均浸水深約2.5m、また、水が引くまで平均約3日を要する、と想定されている。実際、破堤した場合、過去の水害事例 (平成27年常総市鬼怒川氾濫、令和元年長野市北部千曲川氾濫、令和2年人吉市球磨川氾濫等) によると、浸水深、範囲はハザードマップとほぼ同じ状況になり得る。

淀川氾濫の浸水対策（避難）
対策の基本フレーム

| | 警戒活動 | 避難誘導～避難完了 約1時間後 | 避難完了 約2時間後 | 避難完了 約3時間後 | 避難継続 |
|--------------------|--|---|--|---|--|
| 状況 | 水位上昇が見込まれている段階 | 高齢者等避難を発令する目安となる水位に到達し、避難指示を発令する水位に到達する可能性あり | 避難指示を発令する水位に到達 | 緊急安全確保を発令する水位に到達若しくは河川氾濫が発生若しくはそのおそれが高い | 浸水 |
| 大阪市 | | 警戒レベル3 高齢者等避難の発令 (地下街へ直接伝達) | 警戒レベル4 避難指示の発令 (地下街へ直接伝達) | 警戒レベル5 緊急安全確保の発令 (地下街へ直接伝達) | |
| 地下街管理者 接続ビル管理者 | <ul style="list-style-type: none"> 警戒体制の設置 気象情報の収集 周囲の状況を監視 必要に応じ止水板や土嚢の設置準備又は設置 接続ビル、地下街管理者は地下階及び地下街店舗等の閉店を検討 など (台風の接近情報発表の場合) <ul style="list-style-type: none"> 臨時休業や営業時間の短縮等の検討 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者等避難が発令されたことを周知 高齢者等へ地下からの避難を呼びかけ 高齢者等に対して垂直避難もしくは水平避難を誘導 高齢者等の避難完了 接続ビル、地下街管理者は地下階及び地下街店舗等の閉店準備又は閉店 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 避難指示が発令されたことを周知 全ての利用者へ地下からの避難を呼びかけ 全ての利用者に対して垂直避難を誘導 管理者は利用者の避難完了を確認後、垂直避難 全ての利用者及び管理者の避難完了 接続ビル、地下街管理者は全ての地下階及び地下街店舗等の閉店完了 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 (避難完了していない場合) <ul style="list-style-type: none"> 緊急安全確保が発令されたことを周知 全ての利用者及び管理者へ地下からの至急退出を呼びかけ 利用者及び管理者は垂直避難 | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 |
| その他行政機関等の動き | | | | | |
| 気象台 | 大雨警報・洪水警報・大雨特別警報 | | | | |
| 河川管理者 (淀川河川事務所) | 洪水予報発表(気象台と共同で発表) 氾濫注意情報 ⇒ 氾濫警戒情報 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 氾濫危険情報 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 氾濫発生情報 | | | | |

※表中の時間経過については想定であり、実際の雨の降り方、河川水位の上昇の仕方、堤防の状況等によっては想定よりも早い時間で対応が必要になる
(大阪駅周辺地区 地下空間浸水対策計画 Ver. 2 一部修正し引用)

◎淀川左岸堤防から氾濫した場合 利用者、関係者の垂直避難を優先し、人命の安全確保を最優先とする。

| | 状況 | 活動内容 | 対応組織 |
|-------|---|--|-----------------|
| フェーズ1 | 水位上昇が見込まれている段階 (氾濫注意情報) | <ul style="list-style-type: none"> 建設局河川課の情報を受けて警戒体制を強化 気象情報の収集 周囲の状況を監視 淀川の水位が上昇し、避難情報の発令見込みが大阪市より情報伝達された場合、利用者に非常放送等で淀川水位の状況の情報提供及び避難の事前予告を行う。 必要に応じ止水板や土嚢の設置準備又は設置 | 施設管理室 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下店舗等の閉店を検討 台風の接近情報発表の場合は臨時休業や終業時間の短縮を検討 | 大阪ダイヤモンド 地下街 |
| フェーズ2 | 高齢者等避難を発令する目安となる水位に到達し、避難指示を発令する水位に到達する可能性あり (氾濫警戒情報) 大阪市警戒レベル3 高齢者等避難の発令 (管理センターへ直接伝達) | <ul style="list-style-type: none"> 【 災害対策本部の設置 】 | 統括班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により、警戒レベル3 高齢者等避難が発令されたことを周知し避難を呼びかけ | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者等に対して垂直避難を誘導 高齢者等の垂直避難完了を確認 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下街店舗等の閉店準備又は閉店 | 大阪ダイヤモンド 地下街 |
| フェーズ3 | 避難指示を発令する水位に到達 (氾濫危険情報) 大阪市警戒レベル4 避難指示の発令 (管理センターへ直接伝達) | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により、警戒レベル4 避難指示が発令されたことを周知し避難を呼びかけ | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 全ての利用者に対して地下からの垂直避難を誘導 利用者の垂直避難完了を確認後、垂直避難 全ての利用者及び管理者の垂直避難完了を確認 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下店舗等の閉店完了 | 大阪ダイヤモンド 地下街 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 |
| フェーズ4 | 緊急安全確保を発令する水位に到達もしくは河川氾濫が発生もしくはそのおそれが高い (氾濫発生情報) 大阪市警戒レベル5 緊急安全確保の発令 (管理センターへ直接伝達) | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により警戒レベル5 緊急安全確保が発令されたことを周知 | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 避難先での災害情報の提供 | 次ページへ続く≫ |

| | | | |
|-----------------------|-------------|---|---------|
| フ エ ー ズ 5 | 大阪駅周辺に氾濫流到達 | ・避難を継続 | 避難誘導班 |
| | | ・大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 ・避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 |

*大阪市街地開発(株)、大阪ダイヤモンド地下街(株)、管理センターの各班は連携して対応にあたる。

警戒配備体制（淀川氾濫）

淀川左岸堤防から氾濫した場合、大阪駅前ダイヤモンド地区の浸水深は2mから3mの浸水被害が想定され利用者及び関係者は垂直避難を優先し、人命の安全確保を最優先とする。

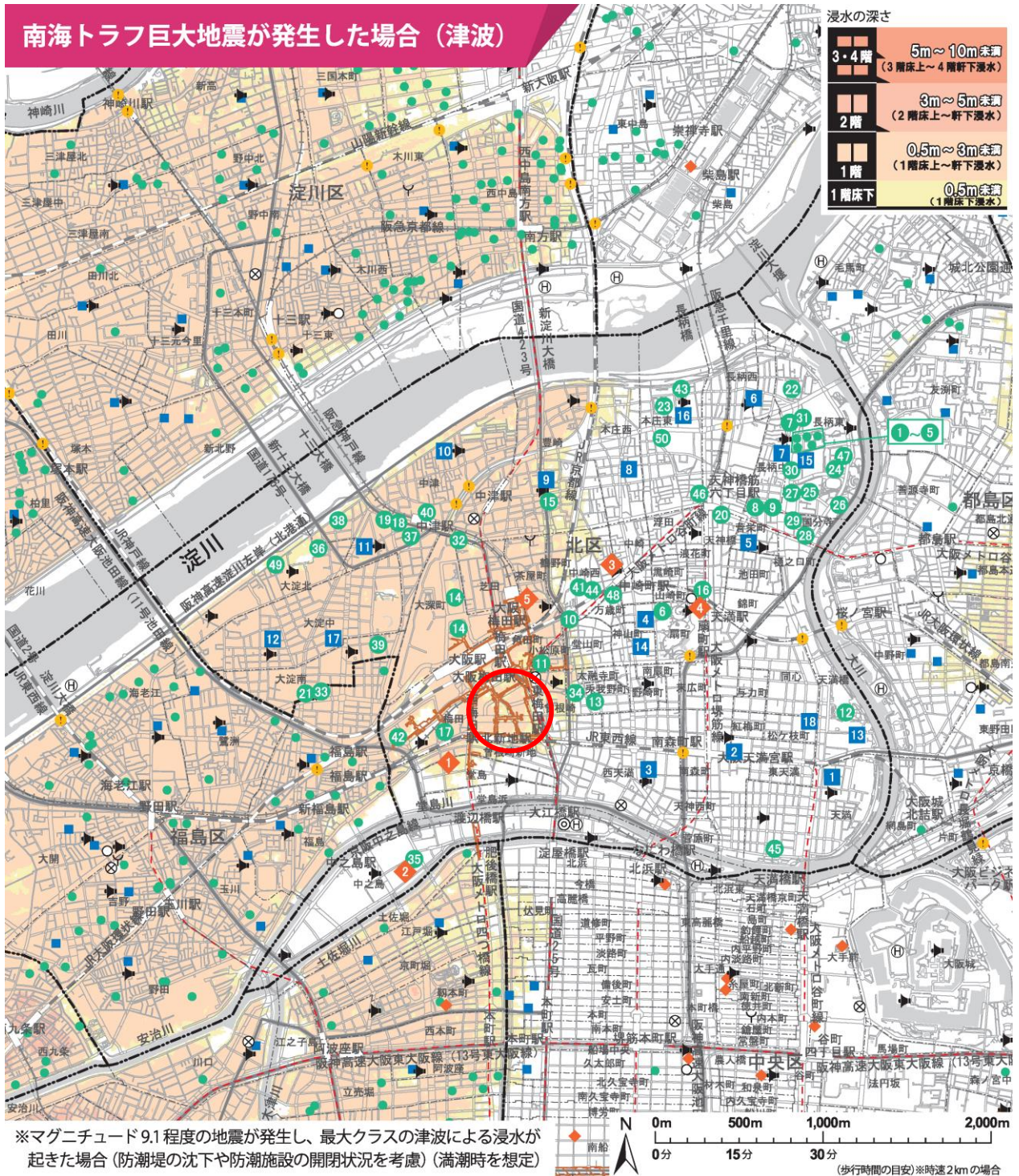
警戒活動内容（詳細）

| 体制 | 本部（管理センター）の対応 | 各接続ビルの対応 |
|-------------|---|--|
| フェーズ1 | <ul style="list-style-type: none"> 施設管理室は、以下の事項について管理センターと情報を共有する。 施設管理室・管理センターが各接続ビルにホットラインで連絡を行う。 管理センターは、各接続ビル・施設からの情報収集活動を適宜実施する。 管理センターは、非常放送により利用者、店舗従業員に情報提供、避難準備予告を行う 管理センターは、監視カメラのモニター画面で地上部を監視できるものは、地上に固定する。 <p><夜間、休日等></p> <p>夜間、休日等については、大阪市街地開発労働員計画に基づき管理センターと連携して対応することとし、サイボウズを積極的に活用し、対応の迅速化を図るとともに災害情報等の共有、指示等の一元化を図ることとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ホットラインで情報を共有する。 防災計画等に基づく活動を実施する。 地下階及び地下店舗等の閉店を検討する。 監視カメラにより監視する。 |
| フェーズ2・フェーズ3 | <ul style="list-style-type: none"> 管理センターは、非常放送により利用者等に避難場所への避難情報を提供する。 警戒活動班は、主要な出入口付近の道路状況等を監視し、その状況を随時災害対策本部に報告する。 避難誘導班は、利用者等に垂直避難を誘導する。 各店舗従業員は、閉店し自店舗のシャッター閉鎖等必要な措置等の確認を行い、利用者等の接続ビルの3階以上の階への垂直避難の誘導を行う。 警戒活動班は、状況に応じて利用者等の垂直避難の誘導にあたる。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等については、フェーズ1と同じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者等避難の情報を共有する。 地下階及び地下店舗等の閉店準備又は閉店する。 避難者の受け入れ等の情報を共有する。 避難指示の情報を共有する。 全ての地下階及び地下店舗等の閉店完了を確認する。 避難先で災害情報を共有する。 避難者の受け入れ等の情報を共有する。 |
| フェーズ4・フェーズ5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報収集伝達班は、大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報を共有する。 情報収集伝達班は、避難先で災害情報を提供する。 避難誘導班は、避難が完了していない場合は全ての利用者及び管理者の地下かの至急退出を呼びかける。 避難誘導班は、地下街、接続ビル地下階に未避難者の有無最終確認及び他地下街、地下駅からの未避難者への避難誘導にあたる。（単独行動はせず必ず2名以上） 店舗従業員は自ら避難するとともに未避難者の接続ビル等への避難誘導にあたる。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等については、フェーズ1と同じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続する。 避難先で災害情報を提供する。 |

(3) 津波警報・大津波警報

(津波浸水想定区域図)

大阪市危機管理室HP 水害ハザードマップ (北区) より転載



<参考>津波は第1波だけでなく何度も繰り返し襲来する。浸水域や浸水深は津波の第1波ではなく、第2波以降に最大となることもある。大阪駅前ダイヤモンド地区周辺は 0.3mから最大 2.0mと想定されている。(南海トラフにおいて M9.1 程度の地震が発生し最大クラスの津波による浸水が起きた場合で満潮時と重なり、防潮堤の地盤沈下、防潮施設の開閉状況を考慮し被害を想定している。)

*南海トラフ巨大地震での予想震度は大阪駅前ダイヤモンド地区周辺では震度5強から6弱と想定されている。(大阪府地震震度想定)

津波の浸水対策（避難）
対策の基本フレーム

| | 発災 | 避難誘導～避難完了 | 避難継続 |
|-------------------|--|--|---|
| 状況 | 0分 南海トラフ 巨大地震発生 (最大震度6弱) | 約3分後 津波来襲 | 約1時間50分後 大阪市沿岸部 に津波(+1m) 到達 浸水 |
| 気象台 | 緊急地震速報 | 津波警報・大津波警報 | |
| 大阪市 | | 避難指示の発令 | |
| 地下街管理者 接続ビル管理者 | <ul style="list-style-type: none"> ・身を守る行動 ・周囲の人の安否確認 ・出火防止 ・ライフライン確認 ・気象情報の収集 など | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者へ大津波又は津波警報が発表されたことを周知 ・全ての利用者へ地下からの垂直避難を呼びかけ ・全ての利用者に対して垂直避難を誘導 ・管理者は利用者の避難完了を確認後、垂直避難 ・全ての利用者及び管理者の垂直避難完了 ・各管理者と情報共有 ・避難先での災害情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難を継続 ・各管理者と情報共有 ・避難先での災害情報の提供 |

※表中の時間経過については想定であり、実際の地震の規模や津波の速さによっては想定よりも早い時間で対応が必要となる可能性がある。

※垂直避難に関しては、津波避難ビルへの避難を優先し、接続ビルへの避難も想定する。なお、避難先となる接続ビルは、津波避難ビルの指定要件（新耐震基準を満たした鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨鉄筋コンクリート造）と同等の構造を有する建築物であることが望ましい。

(大阪駅周辺地区 地下空間浸水対策計画 Ver. 2 一部修正し引用)

◎大阪湾沿岸に津波警報・大津波警報が発表された場合

利用者、関係者の垂直避難を優先し、人命の安全確保を最優先とする。

| | 状況 | 活動内容 | 対応組織 |
|-------|--|--|---------|
| フェーズ1 | 緊急地震速報 南海トラフ巨大地震発生 (最大震度6弱) | <ul style="list-style-type: none"> ・身を守る行動 ・周囲の人の安否確認 ・出火防止 | 全員 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ライフラインの確認 ・気象情報の収集 ・施設の被害状況の確認 | 施設管理室 |
| フェーズ2 | 津波警報 大津波警報 大阪市 警戒レベル3 避難指示 | <ul style="list-style-type: none"> ・【災害対策本部の設置】 | 統括班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・非常放送により全ての利用者へ大津波又は津波警報が発表されたことを周知し避難を呼びかけ | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者へ地下からの垂直避難を呼びかけ ・全ての利用者に対して垂直避難を誘導 ・利用者の避難完了後、垂直避難 ・全ての利用者及び管理者の垂直避難完了を確認 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 ・避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 |
| フェーズ3 | 大阪市沿岸部に津波到達 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難を継続 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 ・避難先での災害情報の提供 ＊避難については、津波に関する注意報、警報等が全て解除になるまで継続することを原則とする。 | 情報収集伝達班 |

*大阪市街地開発(株)、大阪ダイヤモンド地下街(株)、管理センターの各班は連携して対応にあたる。

警戒配備体制（津波警報・大津波警報発表時）

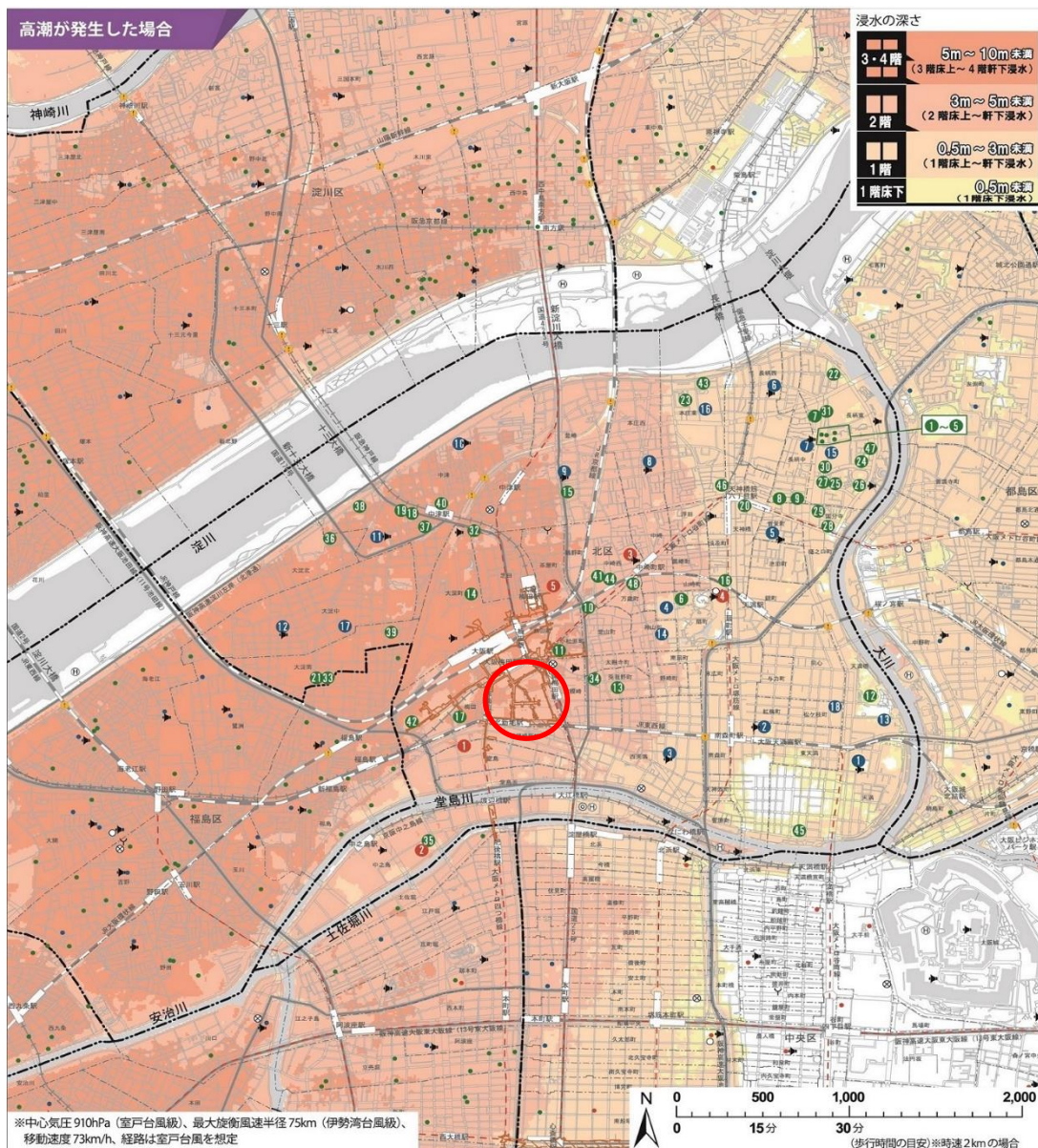
警戒活動内容（詳細）

| | 本部（管理センター）の対応 | 各接続ビルの対応 |
|-------|---|---|
| フェーズ1 | <ul style="list-style-type: none"> 管理センターが中心となり、各接続ビルにホットラインで連絡・情報共有を行い、施設管理室とも情報共有を行う。 管理センターは、非常放送により利用者、店舗従業員等に地震情報と津波に関する情報を周知する。 <p><夜間、休日等></p> <p>夜間、休日等については、大阪市街地開発（株）動員計画に基づき管理センターと連携して対応することとし、サイボウズを積極的に活用し、対応の迅速化を図るとともに災害情報等の共有、指示等の一元化を図ることとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 監視カメラ、巡回等により情報収集を行い、適宜本部に情報連絡を行う。 ホットラインで情報を共有する。 防災計画等に基づく活動を実施する。 避難者の受け入れ等の情報を共有する。 |
| フェーズ2 | <ul style="list-style-type: none"> 管理センターは、非常放送で津波襲来か否かの情報内容を利用者等に伝える。 津波警報又大津波警報発令の場合、管理センターは直ちに非常放送により警報発令を周知し垂直避難を呼びかける。 管理センターは、ダイヤモンド地下街等に「津波襲来ありで避難指示する」と市危機管理室から避難情報が入った時は、ホットラインで周辺ビル等に情報伝達を行う。 避難誘導班は、利用者等を接続ビル3階以上の階へ垂直避難を誘導する。 各店舗従業員は、閉店し自店舗のシャッター閉鎖等必要な措置等の確認を行い、利用者等の垂直避難の誘導を行う。 避難誘導班は、地下街、接続ビル地下階に未避難者の有無最終確認及び他地下街、地下駅からの利用者への避難誘導にあたる。（単独行動はせず必ず2名以上） 警戒活動班は、状況に応じ、利用者等の垂直避難の誘導にあたる。 各班の活動は、津波到達予測時間の30分前までの活動とし、以後は速やかに接続ビルの3階以上の階へ垂直避難すること。 <p><夜間・休日等></p> <p>自動参集した社員は利用者等の垂直避難の誘導にあたる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地震津波情報を伝える。 ビル全体の防災計画等に基づく活動とする。 避難者の受け入れ等の情報を共有する。 3階以上の階へ垂直避難する。 |
| フェーズ3 | <ul style="list-style-type: none"> 情報収集伝達班は、大阪ダイヤモンド地下街（株）、接続ビル、市営地下駐車場等と情報を共有する。 情報収集伝達班は、避難先で災害情報を提供する。 避難誘導班は、避難が完了していない場合は全ての利用者及び管理者の地下からの至急退出を呼びかける。 避難誘導班は、地下街、接続ビル地下階に未避難者の有無最終確認及び他地下街、地下駅からの未避難者への避難誘導にあたる。（単独行動はせず必ず2名以上） 店舗従業員は自ら避難するとともに未避難者の接続ビル等への避難誘導にあたる。 | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続する。 避難先での災害情報を提供する。 <p style="text-align: right;">次ページへ続く>></p> |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| フ エ ー ズ 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難を継続する。 ・情報収集伝達班は、大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報を共有する。 <p><3階以上の階での避難継続時間></p> <p>避難継続時間については、津波注意報、津波警報、大津波警報など、津波に関する全ての注意報、警報等が解除されるまで避難を継続することを原則とする。</p> <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等については、フェーズ2と同じ</p> | |
|-----------------------|---|--|

(4) 高潮

(高潮浸水想定区域図) 大阪市危機管理室HP水害ハザードマップ(北区)より転載




＜参考＞高潮は台風等の低気圧中心気圧が低いことによる海面の吸い上げ効果と、沖から陸に向かう強風による吹き寄せ効果が主因とされている。強い台風の中心が大阪市より西側(淡路島付近)を通過する際に、大雨による淀川増水と満潮とが重なった場合、高潮被害が発生する恐れがある。

平成30年9月4日の台風第21号(大阪湾付近通過時の中心気圧約950hPa)の際は、大阪港で過去最高の高潮(東京湾平均海面プラス329cm)となったが、安治川、木津川、尻無川の三大水門や防潮堤、防潮扉等の整備が進んだことで、幸いにも市内中心部への高潮浸水は防止できた、とされている。当高潮浸水想定区域図は想定し得る最大規模の室戸台風と同等の中心気圧910hPaを想定している。これによると大阪駅前ダイヤモンド地区周辺は最大で概ね3mから5m、部分的に5mから10mの浸水深となる恐れがある。(※平成30年9月11日発表 国土交通省近畿地方整備局 河川部資料による)

◎勢力の強い台風の中心が大阪湾西側通過する予測で高潮警報が発表された場合、内水氾濫及び津波時と同様に来街者と従業員全員の避難を優先させると同時に、時間が許す限りは止水板、土嚢を設置し施設を守る必要がある。(状況により必ずしも3m以上になるとは限らないため)

高潮の浸水対策（避難） 対策の基本フレーム

| 台風最接近 | 警戒活動 約12～48時間前 | 避難誘導～避難完了 約6～12時間前 | 約3～6時間前 | 避難完了 約1時間前 | 避難継続 0分 |
|-------------------|--|---|--|---|--|
| 状況 | | 高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの）を発表かつ、大阪市域の予測潮位が、危険潮位（OP+5.2m）を超える | 高潮警報若しくは高潮特別警報を発表かつ大阪市域の予測潮位が、危険潮位（OP+5.2m）を超える | 高潮氾濫発生情報を発表若しくは大阪市域で浸水被害の発生若しくはそのおそれが高い |  |
| 大阪府 | 災害モード宣言 | | | 高潮氾濫発生情報 | |
| 大阪市 | | 警戒レベル3 高齢者等避難の発令（地下街へ直接伝達） | 警戒レベル4 避難指示の発令（地下街へ直接伝達） | 警戒レベル5 緊急安全確保の発令（地下街へ直接伝達） | |
| 地下街管理者 接続ビル管理者 | <ul style="list-style-type: none"> 警戒体制の設置 気象情報の収集 必要に応じ止水板や土嚢の設置準備又は設置 接続ビル、地下街管理者は地下階及び地下街店舗等の閉店を検討 など | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者等避難が発令されたことを周知 高齢者等へ地下からの避難を呼びかけ 高齢者等に対して垂直避難を誘導 高齢者等の避難完了 接続ビル、地下街管理者は地下階及び地下街店舗等の閉店準備又は閉店 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 避難指示が発令されたことを周知 全ての利用者へ地下からの避難を呼びかけ 全ての利用者に対して垂直避難を誘導 管理者は利用者の避難完了を確認後、垂直避難 全ての利用者及び管理者の垂直避難完了 接続ビル、地下街管理者は全ての地下階及び地下街店舗等の閉店完了 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急安全確保が発令されたことを周知 避難を継続 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> （避難完了していない場合） <ul style="list-style-type: none"> 全ての利用者及び管理者の地下からの至急退出を呼びかけ 利用者及び管理者は垂直避難 </div> | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 各管理者と情報共有 避難先での災害情報の提供 |
| その他行政機関等の動き | | | | | |
| 気象台 | 高潮注意報・高潮警報・高潮特別警報 | | | | |

※表中の時間経過については想定であり、台風の予報円や進行方向・速度、中心気圧等によっては想定よりも早い時間で対応が必要となる可能性がある。
 ※垂直避難に関しては、津波避難ビルへの避難を優先し、接続ビルへの避難も想定する。なお、避難先となる接続ビルは、津波避難ビルの指定要件（新耐震基準を満たした鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨鉄筋コンクリート造）と同等の構造を有する建築物であることが望ましい。

（大阪駅周辺地区 地下空間浸水対策計画Ver. 2 一部修正し引用

◎高潮

勢力の強い台風が大阪市より西側（淡路島付近）を通過する予測で高潮警報が発表された場合、淀川氾濫及び津波と同様に利用者と関係者の垂直避難を優先させる。また、災害状況等から止水板等の設置も考慮する。

| | 状況 | 活動内容 | 対応組織 |
|-------|--|--|-------------------------|
| フェーズ1 | 災害モード宣言 (大阪府) (高潮注意報) | <ul style="list-style-type: none"> 警戒体制の強化 気象情報の収集 災害モード宣言が発出され高潮注意報が発令されるなど、高潮による浸水のおそれが高まることを見込まれる場合、利用者に非常放送等で高潮注意報の状況の情報提供及び避難の事前予告を行う。 必要に応じ止水板や土嚢の設置準備又は設置 | 施設管理室 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下街店舗等の閉店を検討 | 大阪ダイヤモンド 地下街 |
| フェーズ2 | 高潮注意報（警報に切り替わる可能性が高い）を発表かつ、大阪市域の予測水位が、危険潮位（OP+5.2m）を超える 大阪市警戒レベル3 高齢者等避難の発令 (管理センターへ直接伝達) | <ul style="list-style-type: none"> 【 災害対策本部の設置 】 非常放送により警戒レベル3 高齢者等避難が発令されたことを周知し避難を呼びかけ | 統括班 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者等へ地下からの垂直避難を呼びかけ 高齢者等に対して垂直避難を誘導 高齢者等の垂直避難完了 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下街店舗等の閉店準備又は閉店 | 大阪ダイヤモンド 地下街 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 |
| フェーズ3 | 高潮警報若しくは高潮特別警報を発表かつ大阪市域の予測水位が、危険潮位（OP5.2m）を超える 大阪市警戒レベル4 避難指示の発令 (管理センターへ直接伝達) | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により警戒レベル4 避難指示が発令されたことを周知し避難を呼びかけ | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 全ての利用者に対して垂直避難を誘導 管理者は利用者の垂直避難完了を確認後、垂直避難 全ての利用者及び管理者の垂直避難完了を確認 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地下街店舗等の閉店完了 | 大阪ダイヤモンド 地下街 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 |
| フェーズ4 | 高潮氾濫発生情報を発表若しくは大阪市域で浸水被害の発生若しくはそのおそれが高い 大阪府高潮氾濫発生情報 大阪市警戒レベル5 緊急安全確保の発令 | <ul style="list-style-type: none"> 非常放送により警戒レベル5 緊急安全確保が発令されたことを周知 | 情報収集伝達班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 避難を継続 | 避難誘導班 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 次ページへ続く➤ |

| | | | |
|-----------------------|---------------|---|---------|
| | (管理センターへ直接伝達) | | |
| フ エ ー ズ 5 | 台風最接近 | ・避難を継続 | 避難誘導班 |
| | | ・大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、市営地下駐車場等と情報共有 ・避難先での災害情報の提供 | 情報収集伝達班 |

* 大阪市街地開発(株)、大阪ダイヤモンド地下街(株)、管理センターの各班は連携して対応にあたる。

警戒配備体制（高潮時）

警戒活動内容（詳細）

| 状況 | 本部（管理センター）の対応 | 各接続ビルの対応 |
|-----------------|--|---|
| フェーズ1 | <ul style="list-style-type: none"> 管理センターが中心となり、各接続ビルにホットラインで連絡・情報共有を行い、施設管理室とも情報共有を行う。 管理センターは、非常放送により利用者、店舗従業員等に台風情報と高潮に関する情報を周知する。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等については、大阪市街地開発(株)動員計画に基づき管理センターと連携して対応することとし、サイボウズを積極的に活用し、対応の迅速化を図るとともに災害情報等の共有、その他、指示等の一元化を図ることとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 防災計画等に基づく活動を実施する。 ホットラインで情報を共有する。 監視カメラで警戒監視する。 巡回警戒等で情報を収集する。 |
| フェーズ2 ・フェーズ3 | <ul style="list-style-type: none"> 管理センターは、非常放送で高潮浸水の恐れについての情報内容を利用者等に伝える。 管理センターは、高潮警報の発令の場合は直ちに非常放送により警報発令を周知し避難誘導を呼びかける。 避難誘導班は、利用者等を接続ビル3階以上の階へ垂直避難を誘導する。 各店舗従業員は、閉店し自店舗のシャッター閉鎖等必要な措置等の確認を行い、利用者等を接続ビル3階以上に避難誘導を行う。 警戒活動班は、土嚢、止水板等を活用して、浸水が予想される箇所への対応を図る。 管理センターは、大阪ダイヤモンド地下街等に「高潮浸水ありで避難指示する」と市危機管理室から避難指示情報が入った時は、ホットラインで周辺ビル等に情報伝達を行う。 情報収集伝達班は、避難先で災害情報を提供する。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等については、フェーズ1と同じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル3 高齢者等避難の情報を共有する。 各ビルは地下階及び地下店舗等の閉店準備又は閉店する。 避難者の受け入れ等の情報を共有する 避難先で災害情報を提供する。 警戒レベル4 避難指示の情報を共有する。 全ての地下階及び地下店舗等の閉店完了を確認する。 避難者の受け入れ等の情報を共有する。 全ての利用者等の避難状況を確認する。 全ての利用者及び管理者等の避難を完了させる。 |
| フェーズ4 ・フェーズ5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報収集伝達班は、大阪ダイヤモンド地下街(株)、接続ビル、地下駐車場等と情報を共有する。 情報収集伝達班は、避難先で災害情報を提供する。 避難誘導班は、避難が完了していない場合は全ての利用者及び管理者の地下からの至急退出を呼びかける。 避難誘導班は、地下街、接続ビル地下階に未避難者の有無最終確認及び他地下街、地下駅からの未避難者への避難誘導にあたる。(単独行動はせず必ず2名以上) 店舗従業員は自ら避難するとともに未避難者の接続ビル等への避難誘導にあたる。 <p><夜間・休日等></p> <p>夜間・休日等については、フェーズ1と同じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル5 緊急安全確保の情報を共有する。 避難を継続する。 避難先で災害情報を提供する。 避難を継続する。 避難先で災害情報を提供する。 |

(5) 災害対策本部の設置

- ・災害対策本部は、次の場合に設置する。

内水氾濫 : 浸水被害が発生するおそれが極めて高い場合。
淀川氾濫 : 大阪市から警戒レベル3 高齢者等避難が発令された場合。
津波 : 津波警報又は大津波警報が発令された場合。
高潮 : 大阪市から警戒レベル3 高齢者等避難が発令された場合

- ・災害対策本部の本部長は大阪市街地開発(株)代表取締役社長、副本部長は大阪ダイヤモンド地下街(株)代表取締役社長とする。

*施設管理室防災担当は、台風の接近など、災害の発生への警戒を要する状況が生じた場合は、大阪管区気象台、大阪市からの情報、現場からの情報などを把握、整理し、大阪市街地開発(株)常勤役員及び企画部長に報告し指示を受けることとする。

(6) 災害対策本部の設置場所

大阪駅前ダイヤモンド地下街の災害対策本部は、大阪駅前第一ビル8階（大阪市街地開発(株)）に設置し、現場指揮所を大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センター内に置く。

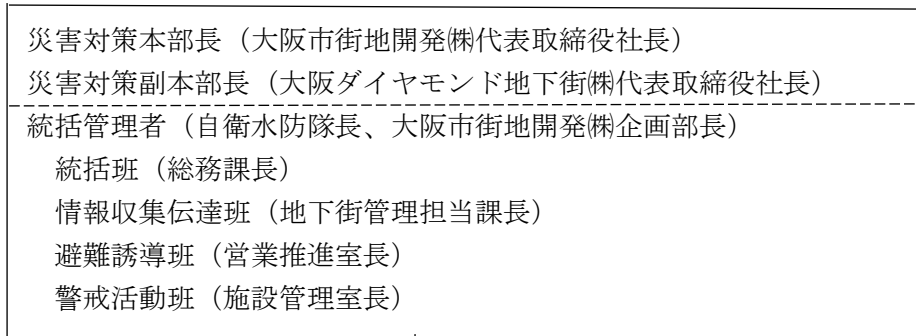
なお、現場指揮所の責任者はダイヤモンド地下街管理センター警備隊長とする。

また津波災害時、この現場指揮所全隊員は、津波の大阪湾到達30分前をもって大阪駅前第一ビル8階（大阪市街地開発(株)）の災害対策本部に避難する。

(7) 災害対策本部の体制

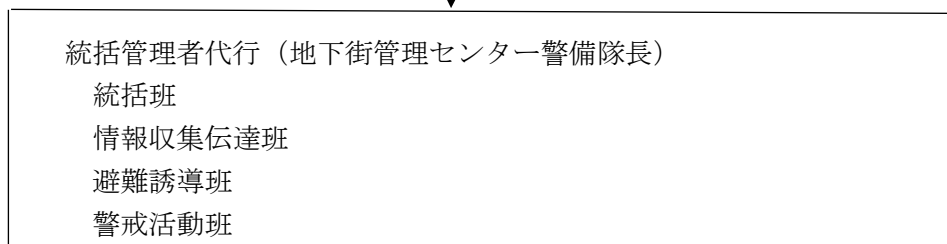
災害対策本部の体制は次のとおりとし、それぞれの接続ビル等の災害対策本部間との連携を密にして、災害対応に万全を期する。

(大阪駅前ダイヤモンド地下街全体の体制)

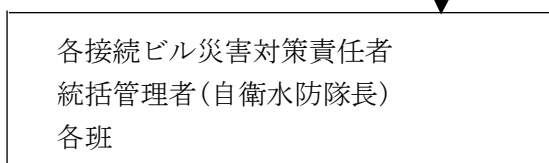


※災害対策本部と地下街管理センターとの連携は、統括管理者及び施設管理室防災担当が責任を持って担うこととし、不在の時は施設管理室長が代行する。

(大阪駅前ダイヤモンド地下街
管理センターの体制)



(各接続ビル)



(ホットライン)

(8) 災害対策本部の組織と任務

災害対策本部の組織と任務は次のとおりとする。

| 組 織 | 任 務 |
|-------------------------------|---|
| 災害対策本部長 (代表取締役社長) | <ul style="list-style-type: none">・各班の統括指揮・垂直避難・誘導の指示・浸水防止対策の指示 |
| 統括管理者 (自衛水防隊長： 企画部長) | <ul style="list-style-type: none">・本部長の補佐・本部業務の統括・大阪市危機管理室への報告（全員避難完了済み等） |
| 統括班 (班長：総務課長) | <ul style="list-style-type: none">・社員の動員の伝達（休日・夜間の緊急連絡を含む）・本部の運営・本部決定事項の各班への伝達・避難実施時期、利用者等への発表情報の検討 |
| 情報収集伝達班 (班長：地下街管理担当 課長) | <ul style="list-style-type: none">・館内非常放送による利用者、店舗従業員への情報伝達・ダイヤモンド地下街(株)、市営地下駐車場、（管理センター）との連絡調整・接続ビルとの情報連絡・ダイヤモンド地下街(株)との営業時間変更等の調整 |
| 避難誘導班 (班長：営業推進室長) | <ul style="list-style-type: none">・避難誘導に使用する資器材の準備・避難誘導の実施・要援護者、要救助者の避難介助・全員避難の確認と統括管理者への報告 |
| 警戒活動班 (班長：施設管理室長) | <ul style="list-style-type: none">・気象、洪水、津波情報の収集と連絡・周辺の浸水状況の把握・被害発生予想箇所の巡回調査と応急処置・電気施設、機械施設、排水ポンプ、地上施設の点検と処置・排水溝の点検と処置（地上道路を含む）・浸水防止用資器材の準備・浸水防止対策の実施 |

(9) 災害対策本部の解散

災害の危険が解消されたと認められたとき、あるいは水害・津波災害の発生による応急対策が完了したと認められたとき、災害対策本部長の指示により解散する。

2 情報収集及び伝達体制

管理センターの勤務者は、下記の手法により情報を収集する。

(1) 浸水危険性・施設利用状況の把握

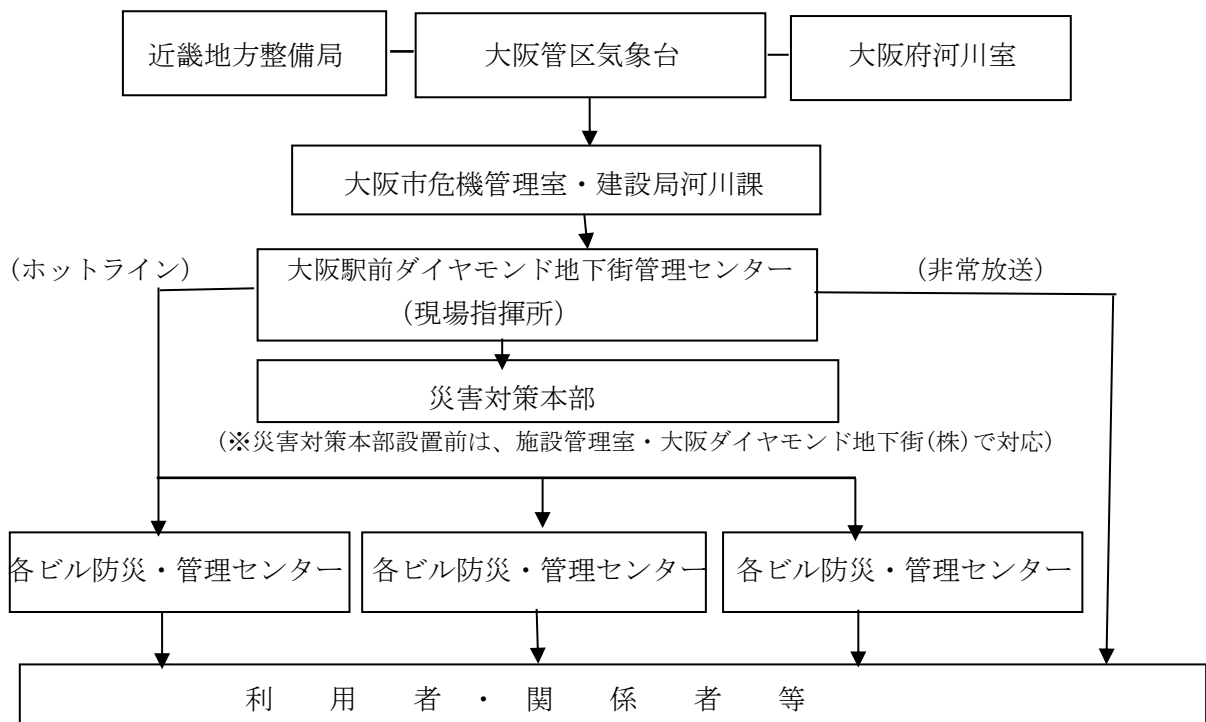
次により随時、気象情報、淀川・堂島川・土佐堀川の水位、避難状況の情報を把握する。
 浸水危険については、情報に基づき道路の冠水状態等巡回を行い、目視により判断する。

| 収集する情報 | 収集方法 |
|--------------|---|
| 気象情報 | 大阪管区气象台、テレビ、ラジオ、インターネット（情報提供機関のウェブサイト）、大阪市建設局「大阪市降雨情報」、 |
| 洪水予報、水位到達情報 | 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所、大阪府河川室からの情報及び大阪市建設局河川課からのファックス、インターネット（情報提供機関のウェブサイト） |
| 高齢者等避難及び避難指示 | 大阪市危機管理室からのファックス、通信事業者緊急速報メールサービス、テレビ、ラジオ、インターネット（情報提供機関のウェブサイト） |
| 施設利用状況の把握 | 監視カメラにより確認、管理センター員等の警戒 |
| 雨量、地上の降雨状況 | 「梅田地区地下空間防災対策検討会」防災システムにより情報収集（2か所の雨量計と6か所の地上監視カメラ）（別図-2） |

- ・提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況等、地上部の状況については、直接確認を行う。
- ・気象情報、水防警報、洪水予報については、大阪市建設局から配布された「水防実務ハンドブック」に基づく事前計画により、ファックスで大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターに伝達されるので、これにより確認し各接続ビル防災・管理センターに情報の伝達を行うものとする。

(2) 情報伝達体制

大阪駅前ダイヤモンド地区の情報伝達は、次のフローに基づき行う。



ホットライン接続ビル・施設一覧

| 施 設 名 |
|-----------------|
| 大阪駅前ダイヤモンド地下街 |
| 大阪第一生命ビル |
| 梅田スクエアビル |
| 梅田D Tタワー |
| イーマビル |
| 大阪マルビル（解体中） |
| 大阪駅前第 1 ビル |
| 大阪駅前第 2 ビル |
| 大阪駅前第 3 ビル |
| 大阪駅前第 4 ビル |
| 桜橋駐車場・曽根崎地下歩道 |
| J R 北新地駅 |
| 大阪梅田ツインタワーズ・サウス |
| 大阪駅前地下道 |

- ・各施設等の情報伝達班は、非常放送、掲示板等を用いて、気象情報、洪水予報等、避難開始等の情報の周知を図る。
- ・各接続ビルの統括班等は、非常体制に移行した場合には、「これより〇〇ビル〇〇階の〇〇〇部に避難する」旨を大阪市街地開発㈱（06-6341-6505）に連絡する。
- ・管理センターは大阪市危機管理室・建設局河川課から受けた情報はホットラインを通じて各接続ビルに伝達するとともに災害対策本部に報告する。
- ・管理センターはホットラインで各接続ビルが避難者の受け入れが可能な状況かを確認し、災害対策本部に報告する。
- ・管理センターは浸水が発生した接続ビルから連絡を受けた場合、災害対策本部へ報告する。
- ・管理センターは必要に応じ、避難者の受け入れを行っている接続ビルに情報を提供するとともに災害対策本部に報告する。
- ・管理センターは避難者の受け入れが困難となった接続ビルの情報を各接続ビルで共有するとともに災害対策本部に報告する。
- ・避難が完了した場合、全管理者で情報を共有する。
- ・避難完了後、大阪市街地開発㈱を通じて大阪市危機管理室に避難が完了した旨を連絡する。
（大阪市危機管理室 06-6208-7388）

災害対策本部設置の前段階としての対応

- * 施設管理室防災担当は、台風の接近など、災害の発生への警戒を要する状況が生じた場合は大阪管区气象台、大阪市などからの情報、現場から情報などを把握、整理し大阪市街地開発㈱常勤役員及び企画部長に報告し指示を受けることとする。
- * 休日、平日夜間に災害が発生又は警戒を要する状況が生じた場合は、管理センターから施設管理室防災担当へ情報伝達し、施設管理室防災担当は、大阪市街地開発㈱常勤役員及び企画部長に報告し指示を受けることとする。

3 浸水防止に関する活動

(1) 基本認識

大雨による淀川氾濫は、大阪駅前ダイヤモンド地区周辺は約2 mから3 mの浸水が想定されるため、また、津波警報又は大津波警報発令時は大阪市域の津波襲来が想定される発災後、約1時間50分後までに全ての利用者等の垂直避難を完了する必要があるため、止水板等は設置せず垂直避難による人命の安全確保を最優先とする。

現在想定されている東海豪雨級の雨（時間最大雨量93 mm/h）の場合、地下街に水が流入するおそれはない。

(2) 止水対策の実施方法

全ての出入口の踏み込み面（地盤面より一段高い）の高さは東海豪雨級の雨（時間最大雨量93 mm/h）が降った場合の想定道路冠水面の高さを上回るとされているが、下記の出入口は、その高低差がわずかであるため、特に警戒を要する出入口として、状況により止水板を優先して設置する。また、止水板の設置にあたっては上下2枚式の止水板は下部のみを優先して設置し、これが完了次第、状況を見ながら下記の5か所以外の出入口に止水板（下部のみ）を設置する。その後、上部止水板を設置する。また、止水板設置の時間がない場合は管理シャッターと土嚢等により応急処置を行うこと。

<特に警戒を要する出入口> 階段番号 8-5、8-17、E-13、E-14、E-20 （別図-3 参照）

<参考> 階段出入口 37 か所 エレベーター出入口 3 か所 （別図-3 参照）

* 止水対策用の資器材（参考資料1 参照）

止水板（緊急車路倉庫に保管） 土嚢（緊急車路西側、土嚢置場に保管）等

4 避難誘導

(1) 避難の原則

ア 南海トラフ巨大地震（マグニチュード9クラス）による津波災害にあつては、利用者を接続ビルの3階以上に垂直避難誘導する。また、津波到達まで時間的余裕があつても、利用者には速やかに垂直避難を誘導する。（別図-4 参照）

イ 淀川左岸堤防の氾濫、高潮、内水による氾濫発生の場合も、上記と同様に接続ビルの3階以上に垂直避難を誘導する。

(2) 避難誘導開始時期

ア 内水氾濫

- ・道路冠水が発生し出入口からの水の流入のおそれが高まることを見込まれる場合、利用者に非常放送等で周囲の状況の情報提供及び避難の事前予告を行う。（P8 フェーズ2）
- ・出入口からの水の流入のおそれが高まった場合、利用者に周囲の状況を周知するとともに、地下からの垂直避難を呼びかけ誘導する。（P8 フェーズ3、4）

イ 淀川氾濫

- ・淀川の水位が上昇し、避難情報の発令見込みが大阪市より情報伝達された場合、利用者

非常放送等で淀川水位の状況の情報提供及び避難の事前予告を行う。(P12 フェーズ 1)

- ・警戒レベル3 高齢者等避難が発令された場合、利用者に高齢者等避難が発令されたことを周知するとともに、高齢者等へ地下からの垂直避難を呼びかけ誘導する。(P12 フェーズ 2)
- ・警戒レベル4 避難指示が発令された場合、利用者に避難指示が発令されたことを周知するとともに、全ての利用者へ地下からの垂直避難を呼びかけ誘導する。(P12 フェーズ 3)
- ・警戒レベル5 緊急安全確保が発令された場合、利用者に緊急安全確保が発令されたことを周知するとともに、全ての利用者へ地下街から至急垂直避難するよう呼びかけ誘導する。(P12 フェーズ 4)

ウ 津波警報・大津波警報

- ・津波警報又は大津波警報が発令された場合、利用者に非常放送等で津波警報又は大津波警報が発令されたことを周知するとともに、地下からの垂直避難を呼びかけ誘導する。(P17 フェーズ 2)

エ 高潮

- ・災害モード宣言が発出され高潮注意報が発令されるなど、高潮による浸水のおそれが高まることが見込まれる場合、利用者に非常放送等で高潮注意報の状況の情報提供及び避難の事前予告を行う。(P22 フェーズ 1)
- ・警戒レベル3 高齢者等避難が発令された場合、利用者に高齢者等避難が発令されたことを周知するとともに、高齢者等へ地下からの垂直避難を呼びかけ誘導する。(P22 フェーズ 2)
- ・警戒レベル4 避難指示が発令された場合、利用者に避難指示が発令されたことを周知するとともに、全ての利用者へ地下からの垂直避難を呼びかけ誘導する。(P22 フェーズ 3)
- ・警戒レベル5 緊急安全確保が発令された場合、利用者に緊急安全確保が発令されたことを周知するとともに、全ての利用者へ地下街から至急垂直避難するよう呼びかけ誘導する。(P22 フェーズ 4)

(3) 発令時の行動

ア 避難誘導班及び店舗従業員で利用者の垂直避難を誘導する。

イ 非常放送を用いて、次の情報を伝える。

- ・予め各災害についての情報提供と避難の可能性があること
- ・地上の浸水に関する情報
- ・原則各災害とも接続ビル3階以上へ垂直避難する。
- ・係員の指示に従うこと
- ・エレベーター等使用出来ないこと
- ・高齢者、障がい者等を見かけた場合には当該高齢者、障がい者等の垂直避難に協力いただきたいことを利用者に周知すること。

ウ 管理センターからの非常放送は4か国語対応携帯拡声器も活用して垂直避難誘導を行う。

エ 避難経路として使用しない階段の昇り口にはコーン等を用いて進入禁止の措置を講じる。

オ 施設からの退出が概ね完了した時点において、未避難者の有無について確認する。

この際、他地下街、地下駅、接続ビルからも避難者が来街する場合もあるので未避難者とさせないよう浸水想定情報に留意しながら時間が許す限り、2名以上ペアとなり垂直避難誘導すること。決して、無理な行動や単独で行動しないこと。

カ 停電に備え、避難誘導員は懐中電灯を携帯する。

キ 要援護者、要救助者がおられる場合は避難の介助にあたる。

ク 各店舗従業員は次による。

- ・担当者は火元閉鎖を行う。
- ・担当者はレジ管理等を行う。
- ・自店舗のシャッターを閉めるなど、各施設消防計画、マニュアルにより行動する。
- ・非常放送の指示に従い、自らも利用者等の垂直避難誘導を行う。

(4) 避難場所及び避難経路

ア 避難経路については、止水板等を設置する出入口を有する階段は使用しないものとする。

イ 避難経路は、警戒活動班が常に情報を整理し、避難誘導班に伝達する。

ウ 各ビルの避難場所及び避難経路については、各ビルの防災計画等に明記されている計画に基づいて実施するものとする。

(5) 避難誘導方法及び留意事項

垂直避難誘導を原則とし、避難誘導方法及び留意事項については各ビル防災計画等に明記されている計画に基づき実施する。（*参考資料1・参考資料2）

第3部 避難の確保及び浸水の防止を図るための施設の整備

情報収集伝達・避難誘導及び浸水防止対策の際に使用する施設及び資器材については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。

これらの資器材等については、日ごろからその維持管理に努めるものとする。

| 活動の区分 | 使用する設備又は資器材 ※ |
|--------|-------------------------------|
| 情報収集伝達 | テレビ、ラジオ、タブレット、ファックス、パソコン、携帯電話 |
| 避難誘導 | 無線機、携帯電話、懐中電灯、携帯用拡声器、電池、案内旗 |
| 浸水防止対策 | 止水板、土嚢 |

※数量は参考資料1参照

第4部 防災教育・訓練の計画及び実施

1 防災教育・訓練の計画

「自らの命は自らで守る」「自らの地域は自らで守る」そのために、各関係者や自衛水防隊員が平素から備えるべきこと、関係機関が分担・協力して実施すべき災害対策、地下空間における高齢者や障がい者などの援護を要する者への救護を重点とした防災教育を実施し、自主防災への積極的な取り組みの啓発を図る。

(1) 防災教育・訓練の内容は、管理センター要員の教育を除き次によるものとする。

- ・避難計画の周知徹底
- ・浸水予防の周知徹底
- ・水防組織の周知徹底
- ・水害等に関する事項の周知徹底
- ・その他防災管理上必要な事項

(2) 防災教育・訓練の実施は次による。

| 防災教育・訓練スケジュール | | |
|--|-----------|-----------------------------------|
| 区 分 | 実施月 | 実 施 要 領 等 |
| 自衛水防隊員 (大阪市街地開発㈱) (大阪ダイヤモンド地下街㈱) (管理センター) | 6月 | 関係法令及び防災管理に関する資料をもとに研究会、講習会を行う。 |
| 自衛水防隊員 (同上) (図上訓練) | 6月 | 配付資料による図上訓練を行い、実地訓練の準備を行う。 |
| 自衛水防隊員 (同上) (実地訓練) | 6月 | 教育内容に基づき実地における訓練を実施する。 |
| 管理センター要員(保安員) (訓練) | 随時 | ホットラインによる接続ビルとの情報伝達訓練 |
| 大阪駅前ダイヤモンド地下街 テナント従業員 | 5月 11月 | 消防計画に基づく消防防災訓練時に有事の際の従業員の役割を説明実施。 |

2 防災訓練の実施方法

(1) 訓練の内容

- ・地下空間浸水対策を念頭に水防訓練、情報伝達訓練、避難訓練の各種訓練を行う。
- ・図上訓練は参加者が、地図により地下空間が浸水したと想定して討議し、参加者の水防に対する意見や問題を共通認識することである。
- ・実地訓練は実際の災害を想定した訓練であり、事前に配付する資料により、水防訓練、情報伝達訓練、避難訓練の模擬演習を行う。

(2) 図上訓練のシナリオ

図上訓練は場所と時間に制約されず比較的手軽に行えるので、地下空間が浸水したと想定したシミュレーションを通じて、参加者の水防に対する意見や問題を共通認識することができる。また、図上訓練を経た上で実地訓練に反映させることとする。

図上訓練の方法は下記のとおりとする。

ア 実施時期

実地訓練の約1週間前

イ 参加者

自衛水防隊員(大阪市街地開発㈱、大阪ダイヤモンド地下街㈱、管理センター)

ウ 訓練の内容

参加者自身の所在が判別できる縮尺の図面(事前配布)を参加者全員で囲み下記の討議を行う。

- ・事前準備 : 地下空間施設に浸水した場合に被害が想定される施設や問題の抽出
- ・浸水防止 : 地下空間施設に浸水を防止するためのとるべき行動
- ・情報伝達 : 行政から入る情報をどのように受信するか。情報を正しく従業員等の関係者や地下施設利用者に伝達する方法。
- ・避難誘導 : 地下空間施設より避難先へ安全に避難してもらうためにとるべき行動
- ・浸水排除 : 地下空間が浸水した後の浸水排除や清掃等の水防活動
- ・人命救助救出 : 地下空間施設に取り残された人の確認と救出するためのとるべき行動

(3) 実地訓練のシナリオ

実地訓練は浸水を想定した止水板等設置訓練を行う。実地訓練の方法は以下のとおりとする。

ア 実施時期

原則として梅雨のシーズン前である、概ね6月第1週とする。

日時は別途定める。

イ 参加者

自衛水防隊員（大阪市街地開発㈱、大阪ダイヤモンド地下街㈱、管理センター）

ウ 訓練の内容

- * 動員訓練 連絡網を通じて所定の場所に動員する。
- * 災害対策本部設置訓練 災害対策本部の人員、機器材
- * 浸水防止訓練 止水板の設置、土嚢の配置訓練
- * 情報収集訓練 情報の収集
- * 情報伝達訓練 情報の伝達
- * 避難誘導訓練 避難誘導、災害時要援護者の誘導訓練
- * 救出救護訓練 救出救護訓練

(4) 各接続ビルの取組み

上記(1)から(3)を参考に毎年防災教育・訓練を実施する。

3 施設点検計画

管理センター及び警戒活動班員は、実地訓練前に浸水防止の施設、水防資器材の点検を行う。

第5部 事務局への報告等

大阪駅前ダイヤモンド地区における水害時の避難確保・浸水防止計画で、現有自衛水防組織と水防対策資器材情報等の現有水防力情報の共有化を図るため、各施設権原者は現有水防力情報を事務局（大阪市街地開発㈱）に提出する。事務局は、当地区のこれら現有水防力情報をまとめて大阪駅前ダイヤモンド地区内各施設権原者に周知する。

1 自衛水防組織

自衛水防組織については、様式1による。

2 避難確保資器材と対策図面

避難確保資器材については、様式2によるものとし、対策図面は浸水防止を必要とする箇所を明示した図面とする。

3 大阪駅前ダイヤモンド地区現有水防力

(1) 上記1.2の事務局への提出は、毎年3月末までに行う。（変更なしのときも含む）。

(2) 事務局は、大阪駅前ダイヤモンド地区現有水防力資料がまとまり次第、各施設権原者にこれを通知する。

4 防災教育と水防訓練

「第4部 防災教育・訓練の計画及び実施」のうち、実施した防災教育・訓練結果を6月末までに事務局宛提出する。事務局はこれを取りまとめて記録する。

第6部 雑 則

附則1

この計画は、平成18年3月より実施する。(制定)

附則2

この計画は、平成25年6月1日より実施する。(津波災害対策を追加)

附則3

この計画は、平成26年1月1日より実施する。
(改正水防法施行により浸水防止対策を明確化した改訂)

附則4

国土交通省近畿地方整備局より新たな洪水浸水想定が公表され、淀川氾濫時、浸水想定が見直された。(平成29年6月14日)

附則5

この計画は、平成31年2月1日より実施する。(淀川氾濫、津波による浸水想定が修正された)

附則6

この計画は、令和6年10月24日より実施する。

「自衛水防隊員名簿（自衛水防組織の編成と任務）」

建物・施設名（ ）

| 統括管理者（自衛水防隊長） | （ | ） | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--------|---------|----------|---|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 統括管理者の代行者 | （ | ） | | | | | | | | | | | | | |
| 総括・ 情報伝達班 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; padding: 5px;">役職及び氏名</th> <th style="width: 50%; padding: 5px;">主 な 任 務</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">班長 _____</td> <td rowspan="6" style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・警戒体制等を確立した旨を各班に連絡 ・動員計画（社員の非常呼出を含む） ・気象、洪水情報の収集伝達 ・津波情報の収集伝達 ・関係機関への情報連絡 ・館内放送による情報伝達 ・隣接施設・地下道管理者との情報連絡 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">班員 _____ 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> </table> | 役職及び氏名 | 主 な 任 務 | 班長 _____ | <ul style="list-style-type: none"> ・警戒体制等を確立した旨を各班に連絡 ・動員計画（社員の非常呼出を含む） ・気象、洪水情報の収集伝達 ・津波情報の収集伝達 ・関係機関への情報連絡 ・館内放送による情報伝達 ・隣接施設・地下道管理者との情報連絡 | 班員 _____ 名 | _____ | _____ | _____ | _____ | | | | | |
| 役職及び氏名 | 主 な 任 務 | | | | | | | | | | | | | | |
| 班長 _____ | <ul style="list-style-type: none"> ・警戒体制等を確立した旨を各班に連絡 ・動員計画（社員の非常呼出を含む） ・気象、洪水情報の収集伝達 ・津波情報の収集伝達 ・関係機関への情報連絡 ・館内放送による情報伝達 ・隣接施設・地下道管理者との情報連絡 | | | | | | | | | | | | | | |
| 班員 _____ 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 避難誘導班 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; padding: 5px;">役職及び氏名</th> <th style="width: 50%; padding: 5px;">主 な 任 務</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">班長 _____</td> <td rowspan="6" style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導に使用する資器材の準備 ・避難誘導の実施 ・未避難者、要救助者の確認 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">班員 _____ 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> </table> | 役職及び氏名 | 主 な 任 務 | 班長 _____ | <ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導に使用する資器材の準備 ・避難誘導の実施 ・未避難者、要救助者の確認 | 班員 _____ 名 | _____ | _____ | _____ | _____ | | | | | |
| 役職及び氏名 | 主 な 任 務 | | | | | | | | | | | | | | |
| 班長 _____ | <ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導に使用する資器材の準備 ・避難誘導の実施 ・未避難者、要救助者の確認 | | | | | | | | | | | | | | |
| 班員 _____ 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 警戒活動班 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; padding: 5px;">役職及び氏名</th> <th style="width: 50%; padding: 5px;">主 な 任 務</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">班長 _____</td> <td rowspan="10" style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・水防用資器材の準備 ・浸水防止対策の実施 ・被害発生予想箇所の巡回調査 ・地上施設の点検と処置 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">班員 _____ 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">_____</td> </tr> </table> | 役職及び氏名 | 主 な 任 務 | 班長 _____ | <ul style="list-style-type: none"> ・水防用資器材の準備 ・浸水防止対策の実施 ・被害発生予想箇所の巡回調査 ・地上施設の点検と処置 | 班員 _____ 名 | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | |
| 役職及び氏名 | 主 な 任 務 | | | | | | | | | | | | | | |
| 班長 _____ | <ul style="list-style-type: none"> ・水防用資器材の準備 ・浸水防止対策の実施 ・被害発生予想箇所の巡回調査 ・地上施設の点検と処置 | | | | | | | | | | | | | | |
| 班員 _____ 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |
| _____ | | | | | | | | | | | | | | | |

例

令和 年 月現在
様式2
ダイヤモンド地区水防計画

「避難確保資器材等一覧」

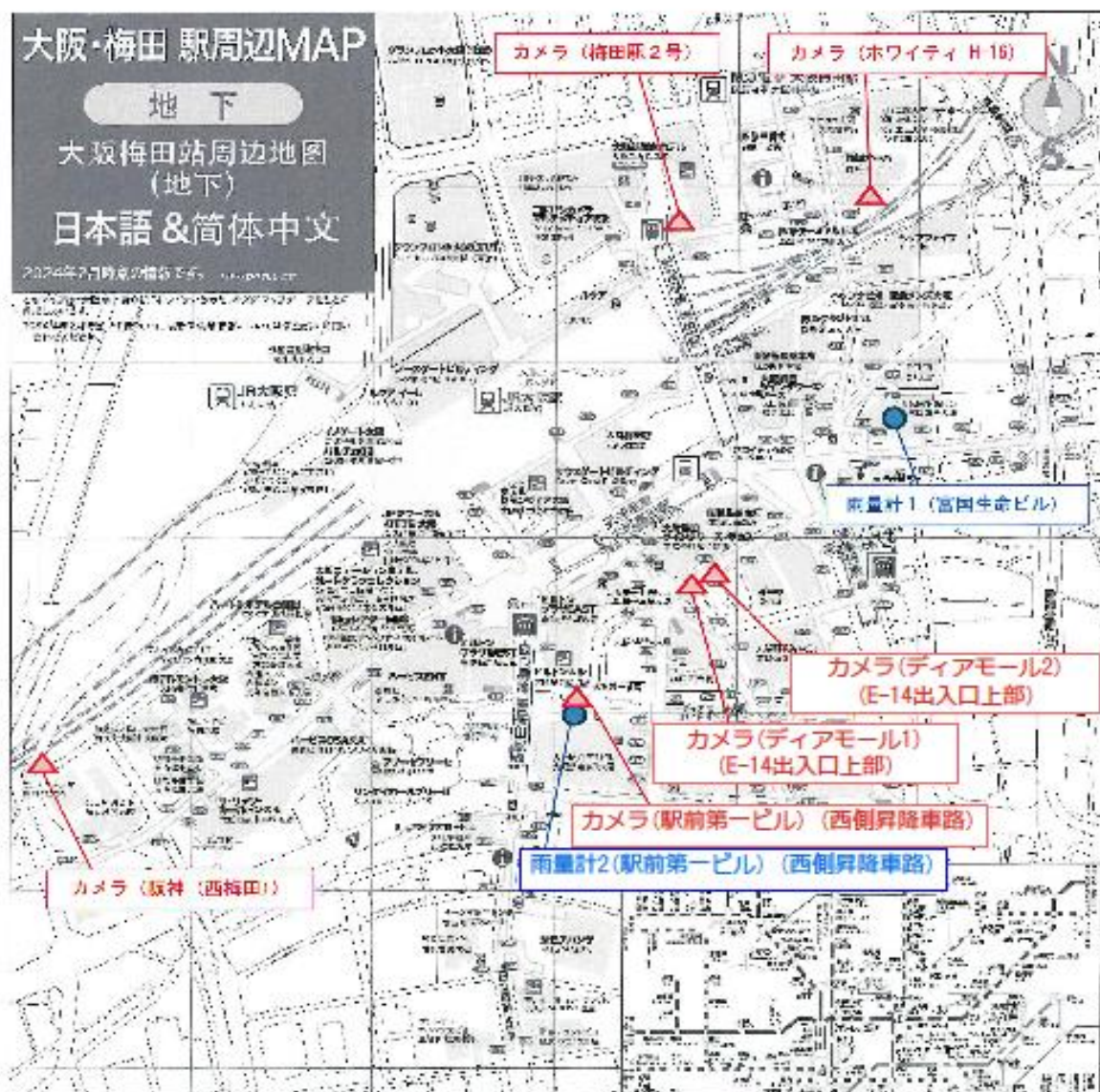
建物・施設名 ()

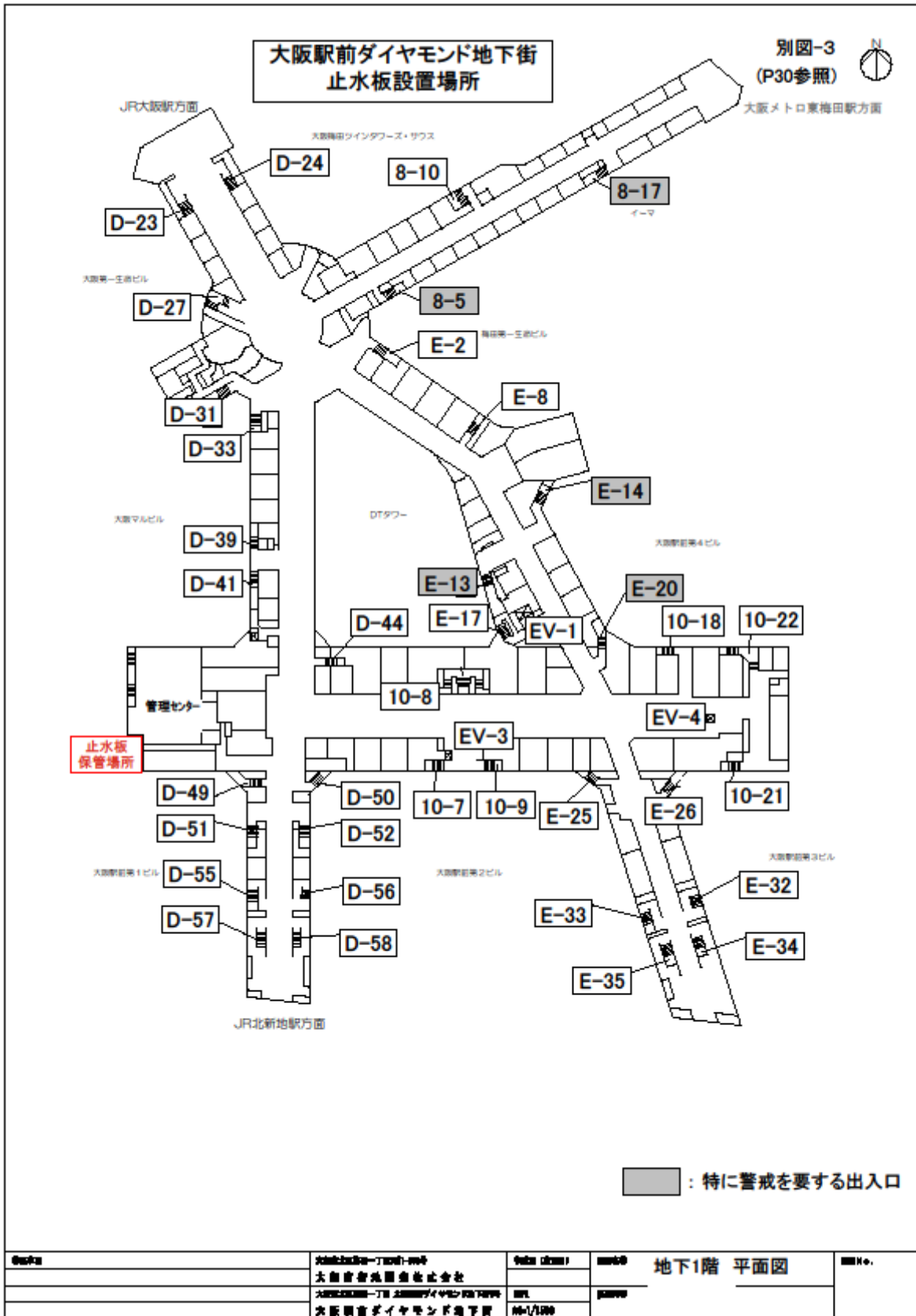
| 任 務 | 資 器 材 品 | 数 量 | 保管場所等 |
|--------------|--------------|-----|-------|
| 総括・ 情報伝達班 | 名簿（従業員、利用者等） | | |
| | 情報収集及び伝達機器 | | |
| | （テレビ | 台 | |
| | （ラジオ | 台 | |
| | （タブレット | 台 | |
| | （ファックス | 台 | |
| | （パソコン | 台 | |
| | | | |
| 避難誘導班 | 誘導の標識 | | |
| | （案内旗等 | 個 | |
| | 伝達機器 | | |
| | （無線機 | 台 | |
| | （トランシーバー | 台 | |
| | （携帯拡声器 | 個 | |
| | （携帯電話等 | 台 | |
| | 照明器具 | | |
| | （懐中電灯 | 個 | |
| | （投光器 | 個 | |
| | （携帯発電機 | 台 | |
| | | | |
| 警戒活動班 | 止水板 | 枚 | |
| | 土嚢 | 袋 | |
| | その他 | | |
| | （ ） | 個・台 | |
| | （ ） | 個・台 | |
| | （ ） | 個・台 | |
| | | | |

大阪駅前ダイヤモンド地区地下空間接続ビル 一覧図



雨量計・カメラ設置場所





「避難確保資器材等一覧」

建物・施設名 (大阪駅前ダイヤモンド地下街)

| 任 務 | 資 器 材 品 | 数 量 | 保管場所等 |
|--------------|--------------|--------|---------------|
| 統括・ 情報伝達班 | 名簿（従業員、利用者等） | | |
| | 情報収集及び伝達機器 | | |
| | （テレビ） | 2 台 | 本社 |
| | （ラジオ） | 2 台 | 本社 |
| | （タブレット） | 2 台 | 本社 ・ 管理センター |
| | （ファックス） | 2 台 | 本社 ・ 管理センター |
| | （パソコン） | 1 台 | 管理センター |
| 避難誘導班 | 誘導の標識 | | |
| | （案内旗等） | 個 | |
| | 伝達機器 | | |
| | （無線機） | 5 台 | 管理センター |
| | （トランシーバー） | 台 | |
| | （携帯拡声器） | 6 個 | 管理センター（多言語含む） |
| | （携帯電話等） | 台 | |
| | 照明器具 | | |
| | （懐中電灯） | 5 個 | 本社 |
| | （投光器） | 個 | |
| | （携帯発電機） | 台 | |
| 警戒活動班 | 止水板 | 101 枚 | 緊急車路倉庫 |
| | 土嚢 | 約200 袋 | 緊急車路土嚢置き場 |
| | その他 | | |
| | （ ） | 個・台 | |
| | （ ） | 個・台 | |
| | （ ） | 個・台 | |
| | | | |

| | |
|------|--|
| 内水氾濫 | |
|------|--|

は 4 か国語対応携帯拡声器に対応する放送内容対応コード
を表す。

(ここでの 4 か国語とは日本語、英語、中国語、韓国語をいう)

大雨特別警報発令（フェーズ 3）

4 か国語放送

070 この地域は浸水する可能性があります。係員の指示に従って行動してください。

< 管理センター非常放送例文 >

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

本日〇〇時〇〇分に大阪市全域に大雨特別警報が発表され、現在相当激しい雨が降り
続いています。

まもなく係員による垂直避難誘導を行いますので、地下街利用者の方々は地下街出入
口階段から近くの地上ビルの 3 階以上に垂直避難を開始してください。

また地下街への浸水に備えて地上出入口の止水板設置準備作業を実施しています。

高齢者や身体に障がいのある方を、見かけた方はお近くの係員にご連絡、また垂直避
難についてご支援、ご協力をお願いします。

繰り返しお知らせします。

大雨特別警報継続し浸水の予兆（フェーズ 4）

4 か国語放送

069 この地域は浸水する可能性があります。危険ですから至急安全な場所に避難
してください。

< 管理センター非常放送例文 >

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

現在の気象情報では今後ますます激しい大雨となり地下街への浸水危険の恐れがあ
ります。

このため地下街利用の皆様は地下街から至急垂直避難をしてください。

慌てずに落ち着いて係員の指示により速やかに地下街出入口階段から近くの地上ビ
ルの 3 階以上に垂直避難してください。

緊急事態です。至急、近くのビル 3 階以上に垂直避難してください。

繰り返しお知らせします。

淀川氾濫

氾濫警戒情報発令→警戒レベル3「高齢者等避難」発令（フェーズ2）

4 か国語放送

065 淀川の水位が避難判断水位に達しました。安全な場所へ避難してください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

本日〇〇時〇〇分、淀川に氾濫警戒情報が発表されたため、大阪市から北区全域に警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されました。

これは、高齢者や障がいのある方など、避難行動に時間を要する要援護者の方々が垂直避難を開始しなければならない段階です。

子どもさん、ご高齢の方、お身体のご不自由な方は、係員の誘導により地下街出入口階段から近くの地上ビルの3階以上に垂直避難を開始してください。

垂直避難にあたり援護を要する方を見かけた方はお近くの係員にご連絡をお願いします。

また援護を要する方のお近くにおられる方は、垂直避難についてご支援、ご協力をお願いします。

各店舗は直ちに閉店してください。

繰り返しお知らせします。

氾濫危険情報発令→警戒レベル4「避難指示」発令（フェーズ3）

4か国語放送

067 淀川が氾濫する可能性があります。至急安全な場所へ避難してください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。
地下街ご利用の皆様にお知らせします。

本日〇〇時〇〇分、淀川に氾濫危険情報が発表されたため、大阪市から北区全域に警戒レベル4「避難指示」が発令されました。

係員の誘導により地下街出入口階段から近くの地上ビルの3階以上に垂直避難してください。

各店舗は地下街利用者の垂直避難誘導に当たってください。

従業員も急いで近くのビル3階以上に垂直避難してください。

繰り返しお知らせします。

淀川氾濫→警戒レベル5「緊急安全確保」(フェーズ4)

4か国語放送

068 淀川が氾濫しました。至急安全な場所へ避難してください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様は緊急連絡です、緊急連絡です。

淀川が氾濫しました。

大阪市から警戒レベル5「緊急安全確保」が発令されました。

直ちに、地下街出入口階段から近くの地上ビルの3階以上に垂直避難してください。

急いで垂直避難してください。緊急事態です。従業員も急いで近くのビル3階以上に垂直避難してください。

繰り返しお知らせします。

(管理センター係員も直ちに3階以上に垂直避難すること)

避難誘導放送例文

地震

緊急地震速報（フェーズ1）

4か国語放送

007

地震です。地震です。係員の指示に従って行動してください。

024

ここは耐震構造ですので慌てず、そのままお待ちください。

246

係員の指示に従ってください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

只今、地震が発生しました。

この地下街は耐震構造になっていますので落ち着いてください。

慌てて地上に出るとガラスなどの落下物があり大変危険です。

今後余震の可能性がありますので引き続きご注意ください。

（津波注意報が発令された場合は以下のとおり放送する）

高齢者や障がいのある方は、早めに近くのビルの3階以上に垂直避難してください。

援護を要する方のお近くにおられる方は、垂直避難についてご支援、ご協力をお願いします。

各店舗は直ちに閉店してください。

繰り返しお知らせします。

避難誘導放送例文

津波

津波警報発令・大津波警報発令 → 「避難指示」発令（フェーズ2）

4か国語放送

240 この地域に「避難指示」が出ています。避難してください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

南海トラフ地震と思われる大地震が発生し、津波警報が発表され、大阪市から「避難指示」が発令されました。

まもなく係員による垂直避難誘導を行いますので、地下街利用者の方々は地下街出口階段から近くの地上ビルの3階以上に垂直避難を開始してください。

高齢者や障がいのある方を、見かけた方はお近くの係員にご連絡をお願いします。

繰り返しお知らせします。

大津波警報発令（フェーズ2）

4か国語放送

027 津波が来ます。津波が来ます。至急安全な場所に避難してください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

大津波警報が発表されました。

ここ梅田にも津波が来る恐れがあります。

係員の指示により地下街出入口階段から近くのビルの3階以上に直ちに垂直避難してください。

各店舗従業員は直ちにお客様の垂直避難誘導にあたるるとともに同時に速やかに3階以上に垂直避難してください。

繰り返しお知らせします。

高 潮

高潮注意報発表→警戒レベル3「高齢者等避難」発令（フェーズ2）

4か国語放送

057 この地域は浸水する可能性があります。係員の指示に従って行動してください。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

現在、強い台風〇〇号が大阪に接近中です。

本日〇〇時〇〇分に大阪市全域に大雨洪水警報と高潮注意報が発表され大阪市から警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されました。

現在、相当に激しい雨が降り続けています。

状況により臨時休業となる場合があります。

今後の気象情報に注意してください。

高齢者や障がいのある方は早めに近くのビルの3階以上に垂直避難するとともに、近くで見かけられた方は垂直避難についてご支援、ご協力をお願いします。

繰り返しお知らせします。

高潮警報・高潮特別警報発表→警戒レベル4「避難指示」又は警戒レベル5「緊急安全確保」（フェーズ3）又は（フェーズ4）

4か国語放送

069 この地域は浸水する可能性があります。危険ですから至急安全な場所に避難して下さい。

<管理センター非常放送例文>

こちらは大阪駅前ダイヤモンド地下街管理センターです。

地下街ご利用の皆様にお知らせします。

現在、強い台風〇〇号が最接近中です。

気象情報では今後ますます激しい大雨となり高潮警報も発表され、大阪市北区に大阪市から警戒レベル4「避難指示」が発令されました。

地下街への浸水危険の恐れがあります。

このため地下街利用の皆様、従業員は地下街から垂直避難してください。

慌てずに落ち着いて係員の指示により速やかに地下街出入口階段から近くのビルの3階以上に垂直避難してください。

各店舗従業員は避難と同時に、地下街利用者の垂直避難誘導にあたってください。

繰り返しお知らせします